

關稅定率法中改正法律案特別委員會會議事速記録第四號

大正十五年三月十七日(水曜日)午前十時
三十六分開會

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 委員會ヲ開キ
マス、本日ハ外務大臣ガ御出席ニナリテ居
リマスガ、昨日ノ倉知君ノ御話デハ外務大
臣ヨリ何カ伺ヒタイト云フコトデアリマス
ガ、之ヲ秘密會ニ致シマスカ如何デス
カ……先ツ試ミニ御質問爲ス……

○倉知鐵吉君 獨逸ノ染料問題及ビ同國ノ
染料輸出調節問題ニ關スル態度方針ハ、我
ガ染料事業ニ最モ重要ナル關係ヲ有スル事
柄デゴザイマスノデ、獨逸ノ態度方針ヲ承知
スルト云フコトハ、關稅定率法案審査上極
メテ必要デアラウト思フノデアリマス、先
般日獨通商條約締結談判ノ際ニ、本件ニ關
シテ兩國當局者間ニ餘ホド立入リテ御交渉
ガアツヤウニ承ツテ居ルノデアリマス、
若シ其御交渉ノ顛末ノ概要、並ニ今後ノ交
渉ノ御方針ノ大體ダケデモ承ルコトヲ得レ
バ、本案審議上非常ニ便利ヲ得ルコトカト
思フノデアリマス、殊ニ世ノ中デハ、日獨
間ニ紳士條約ト云フモノガアルトカナ
ト云フヤウナコトモ噂シテ居リマス、是
等ソコトモドウ云フコトデゴザイマセウ
カ、極ク大體デ宜シウゴザイマスカラ、出來
得ルナラバ御説明ヲ願ヒタイト思フノデア
リマス、若シ速記ヲ附ケテノ委員會デ……
御説明ガムツカシイト云フコトデゴザイマ
シタナラバ、速記ハ省イテ御説明下ス……
モ宜カラウカト思フノデアリマス、如何
ナモノデゴザイマスカ、外務大臣ニ御伺
イタシマス

○副委員長(斯波忠三郎君) ドウデスカ、

貴族院關稅定率法中改正法律案特別委員會會議事速記録第四號 大正十五年三月十七日

速記ヲ止メテ秘密會ニシテ……

○國務大臣(男爵幣原喜重郎君) ソレハド
チラデモ委員長ノ……私一應御答シテ、ド
レダケノコトヲ御答シヤウカ私マダ頭ノ中
ニ纏リテ居ナイノデ、若シ具合ガ惡クナッ
テ筆記ヲ止メテ頂クコトニシマシテ……染
料問題ニ付キマシテハ、既ニ商工大臣其他
政府委員ヨリ御話ノ出來ルダケノコトハ御
話申上ゲタト云フコトデアリマスガ、ソレ
ニ附加ヘテハ餘リ澤山申上ゲルコトモナイ
ヤウニ考ヘマスルガ、併シ大體ノ御話ハ、
若シ重複スル所ガアレバ其點ハ御容恕ヲ願
ヒマシテ私ヨリ大體ヲ御話申上ゲマス、申
ス迄モナク染料ト云フモノハ總テノ化學工
業ニ對シテ根ヲ張り枝ヲ張リテ居ル問題デ
アリマシテ、基礎的ノ工業デアルト云フ
コトハ明カナコトデアリマス、又申迄モナ
ク國防上ノ目的ニモ又極ク必要モノデア
ル、從テ一國ト致シマシテ染料工業ノ發
達ヲ保護シ、之ヲ助成スルト云フ必要ハ獨
逸政府自身モ既ニ日本ガ斯様ナル處置ヲ採
ルニ對シテ尤モデアルト云フコトハ十分認
メテ居ルノデアリマス、殊ニ日本ニ於テ既
ニ生産ガ出來、或ハ既ニ生産ノ目的、目標
ガ立ッテ、見込ガ立ッテ、是ナラバ日本デモ
生産ガ出來ルト云フヤウナ種類ノ染料ニ對
シマシテハ、日本ハ何處迄モ之ヲ助成シ、
發達サセナケレバナラヌト云フ努力ヲ致ス
コトガ日本トシテ當然ナコトデアルト云
フコトニ付キマシテハ、獨逸モ十分認メテ
居ルノデアリマス、今日世界中デ先ツ染料
工業ノ一番發達イタシタ所ハ獨逸デアリマ
ス、其發達セル獨逸ニ於テ生産セラレタル

染料ヲ日本ニ輸入イタシテ日本ノ生産ト競
爭イタスト云フコトニナリマシテハ、是ハ
連モ日本ノ工業ガ立行カヌデアラウト云フ
此大體ノ點ニ付キマシテハ獨逸ノ政府ノミ
ナラズ當業者モ十分認メテ居ルヤウデアリ
マス、此點ヲ獨逸ニ於テ認メマセヌト云フ
ト何レニシテモ獨逸トノ交渉問題ハ成立チ
ヤウハナイノデアリマス、併シ幸ヒニ致シ
テ此根本ノ趣意ハ獨逸政府ハ認メテ居ルノ
デアリマス、第二ニ是ト同時ニ日本ガ從來
獨逸ノ生産ニ反對シテ日本ノ工業ヲ保護ス
ルト云フ目的ノ爲ニ農商務省令ヲ拵ヘマシ
テ、條約ノ保障ノナイ國ニ對シテハ特許ノ
制度ヲ行ッテ居ル、其結果ト云フモノハ獨逸
ニ對シテ差別的待遇ニナッテ居ル、外ノ國
ノ生産品ハ續々日本ニ輸入セラレルニ拘ラ
ズ獨逸ノ生産品ニ限ッテ制限ヲ受ケル、是
ハ即チ差別的待遇デアル、此差別的待遇ト
云フモノハ獨逸トシテハドウシテモ之ヲ甘
受スル譯ニハイカナイ、斯ウ云フ態度ヲ獨
逸ノ方デハ強ク持ッテ居ルノデアリマス、
此點ニ於キマシテハ我モ獨逸ノ主張ニ若
干理由ガアルコトハ認メナケレバナラヌト
思フノデアリマス、日本ノ法令ニ於テ獨逸
ノ生産品ニ對シテ差別的待遇ヲ設ケルト云
フコトハ主義ト致シテハ穩當ノコトデハナ
イ、此日本ノ法令ニ於テ差別的待遇ヲ獨逸
ニ對シテ設ケル限リハ又日獨交渉ガ成立シ
ヤウガナイノデアリマス、從テ此差別的
待遇ト云フモノハ……日本ノ法令ニ依ッテ
止メナケレバナラヌト云フコトハ我モニ於
テモ之ヲ認メザルヲ得ナイ所デアリマス、

サウ致シマス云フト、日獨交渉ノ基礎ハ
大體ソレデ定メテ居ルト思フノデアリマス、
即チ第一ニハ日本ニ於テ現ニ生産セラレ、
或ハ生産セラレベキ見込ノアル、發達ノ
道程ニアル是等ノ物品ニ對シマシテハ獨
逸品ヲ自由ニ輸入シテ日本品ト競争ヲ試ミ
ルト云フヤウナコトヲ獨逸ノ方デハ致サナ
イ、第二ニ於キマシテハ日本ノ法令上ニ於
ケル獨逸品ニ對スル差別的待遇ヲ撤去ス
ル、此二ツノ主義ヲ大體兩國ノ政府ニ於テ
認メマスルニ於キマシテハ交渉ノ成立スル
見込ガアリ、又成立シナケレバナラヌモノ
ダト考ヘテ居ルノデアリマス、然ラバ具體
的ニ申セバ如何ナル方法ニ依ッテ此主義ヲ
行フコト云フコトニ付キマシテハ、是ハナ
カ……專問的ノ問題デアリマシテ、例ヘバ
第一ノ主義ニ依ッテ然ラバ如何ナル品物ヲ
如何ナル性質ノ、如何ナル種類ノ染料ヲ獨
逸カラ輸入シナイカ、獨逸ハ輸入シナイカ
ト云フコトヲ日本ニ對シテ聲明致スカト云
フ風ノコトハ、是ハ餘程專問的ノ問題デア
リマシテ、染料ノ種類ナンカハ是ハ私能ク
存ジマセヌガ、數百種ニ上ッテ居ルト云フ
コトデアリマス、此種類ヲ限定スルト云フ
問題ニ付キマシテハ、唯今專門家ノ方デモ
調査ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、是ハ實
ハ未ダ何等決定イタシテ居ラヌノデアリマ
ス、又日本ノ法令上ニ於キマスル差別的待
遇ヲ除去スルト云フ上ニ於キマシテハ唯今
倉知君ノ御話ニナリマシタ通り一種ノ紳士
協約ト申シマスルカ、サウ云フ取極ヲ設ケ
マスルコトモ、一ツノ方法デアラウト考ヘ
ルノデアリマス、紳士協約ト云フ言葉ハ甚

ダ漠然タル言葉アリマスルガ、是ハ恐ラクハ亞米利加ニ於テ日本ノ移民ニ關スル問題ニ付キマシテ紳士協約ト申シマシタ其言葉ヲ借りテ用ヒル意味合デアラウト思フノデアリマス、即チ一國ハ自分ノ自制的ノ行為ニ依ッテ、自分ヲ制スル行為ニ依リマシテ自發的ニ自分ハ斯ウ云フ方針デ以テ進ンデ行ク、斯ウ云フ措置ヲ執ルト云フコトヲ闡明イタス、聲明イタスト云フノ紳士協約ナンデアリマス、即チ紳士協約ト云フモノニ依リマスルト云フト、一國ノ法令ニ依ル單獨ノ差別的待遇デハナイト云フコトニ一般ニ認メラレテ居ルノデアリマス、斯様な方法デ進ンデ参リマスレバ、獨逸ノ關スル限リ異議ハ或ハナカラウカト思フテ居ルノデアリマス、併シ此點ニ付キマシテモ、實ハ具體的ノ紳士協約ノ條件ノ形式ナドハマダ研究中デアリマシテ、決マッテ居ナイノデアリマスカラ、是モ今日私ガ申上ゲル迄ノ時期ニ達シテ居ナイノデアリマス

○稻畑勝太郎君 外務大臣ニ伺ヒタイノデスガ、唯今ノ御話ニ依リマス、此獨逸ニ對スル單獨ノ輸入制限ト云フモノハ撤廢シナケレバナラス、日獨協商ヲ進メヨウトスレバ……此輸入制限ヲ獨逸邊リヲ御撤廢ニナリマス同時ニ全然輸入制限ト云フモノハ御撤廢ノ御意向デアリマス、或ハ他ノ競爭國ニモ此輸入制限ト云フモノヲ御布キニナッテ、此獨逸ト平等ノ取扱ヲスルト云フ御考デアリマス、サウ云フコトハマダ御決定ニナッテ居ラスノデアリマスカ伺ヒタイ、輸入制限ヲ現今ハ獨逸タケニ行ッテ居ル、之ヲ獨逸ノ請求通り此輸入制限ヲ撤廢ナサルニ付テ輸入制限ハ全然御撤廢ニナルト云フ御考デアリマス、更ニ之ヲ獨逸ノ競爭國ニモ輸入制限ヲ御布キニナルト云フ御考デアリマス、之ヲ伺ヒタイ

○國務大臣(男爵幣原喜重郎君) チョット唯今ノ御趣旨ヲ十分了解シ難イノデアリマス、條約ノアル國ニ對シマシテハ輸入ノ制限ヲ行ヒ得ナイノデアリマス、現行條約ノ規定ノ下ニ於テハ輸入制限ヲ行ヒ得ナイノデアリマス、從ッテ輸入制限ヲ行ハフトシテモ、ソレハ條約違反ナリト云ハザルヲ得ナイト思フノデアリマス、併シ稻畑君ノ御質問ノ趣旨ハ、或ハソレデナクシテ農商務省令ト云フモノヲ尙ホ存置スルヤ否ヤト云フ御質問デアリマスレバ、ソレハ幾ラカ別問題ニナリマス、農商務省令ヲ存置シテ置クト云フコトハ別ニ妨ゲナイト思フノデアリマス、今日ノ我々ノ條約ノ解釋ニ依リマスレバ、輸入制限ヲ條約國ノ生産品ニ對シテ加ヘルト云フコトハ非難ノアルコトデアラウト考ヘマス

○稻畑勝太郎君 唯今ノ問題ハソレデ打切りマスガ、佛領印度支那ノ關稅改正ノ問題ニ付テ外務大臣ニ御質問イタシタイ、此將來我貿易品ノ輸入品ト致シマシテ、相當發展ノ見込ノアル佛領印度支那ニ於キマシテ、我國ノ商品ニ對シテハ、從來特ニ關稅ノ障礙ヲ高クシ居ルノデアリマス、之ヲ改メルト云フコトハ非常ニ必要ナコトデ、長ク之ヲ打テ棄テ置イタシテ居リマスガ、何トカ、之ノ改正ヲ實現シタイト云フコトハ、從來外務當局ハ無論我々民間ノ者共ニ於キマシテモ、及バズナガラ、盡力ヲ致シテ居ンデ居リマスガ、先般印度支那總督「メルラン」氏ガ日本ノ訪問ナリマシテ、續イテ我ガ國カラハ答禮ノ特使トシテ山縣公爵ガ御出掛ケニナッタンデアリマス、又此問題ハ巴里デ石井大使ガ佛國政府ト交渉ヲ重ナラシメ、此交渉ハ有望デアルヤウニ傳ヘラレマシテ、我々ハ心中非常ニ喜ンデ居ッタンデアリマスガ、其後何等ノ音沙

汰モゴザリマセヌノデ、如何ナル理由ニナッテ居ルカ、誠ニ不審デ居ル次第デアリマス、我々ハ……風聞デゴサイマスルガ、私ガ耳カニ聞イテ居リマスルノニハ、此關稅改正問題バカリデナク、印度支那ニ於ケル我ガ領事ノ權限問題トカ、或ハ印度支那ニ於ケル土地ノ開墾問題トカ、其他種々ノ企業ニ關スル利權問題ト云フヤウナコトガ我ガ代表カラ持出サレタ爲ニ……代表カラ交渉ノ議題ニ供セラレマシタ爲ニ、此交渉ガ頓挫ヲ來シテ居ル、一向進捗セナイト云フヤウナ噂ヲ耳ニシテ居ルノデアリマスルガ、果シテ左様ナコトデアリマスレバ成程我ガ領事ノ權限問題トカ、或ハ我ガ船舶ノ入港問題トカ、土地所有權トカ、或ハ權限問題、共同ノ開墾事業ト云フヤウナ問題モ最モ肝要デアリマスガ、ソレ等ノコトガ一時ニサウ云フ問題ガ出ル爲ニ先方ニ幾分疑デモ起サシテ大切ナ關稅問題ノ交渉ガ延期スルト云フヤウナコトニナッタンレバ、甚ダ遺憾トスル次第デアリマスルガ、是ハ風説ニ聞イテ居ルダケデアリマスルカラ、政府ハ此事ニ付キマシテハ如何ナル御考デアリマスルカ、又ドウ云フ善後策ヲ御執リニナッテ居リマスルカ、其後ノ佛蘭西ニ於ケル日佛間ノ關稅問題ハドウ云フヤウニ進捗シテ居リマスルカ、御尋ヲ致シタイト思ヒマス

○國務大臣(男爵幣原喜重郎君) 唯今稻畑君ノ御質問ノ通り、佛蘭西ノ印度支那ニ於キマシテハ關稅ハ所謂最高最低兩種ノ稅率ガアリマシテ、日本ノ品物ニ對シマシテハ、所謂條約上ノ保障ガ無イガ爲ニ、總テ最高稅率ヲ課シテ居ルト云フノデアリマス、之ガ爲ニ日本品ガ非常ニ不利ナル地位ニ立チマシテ、今日マデ佛領印度支那方面ニ對シテ日本ノ貿易ガ發達イタサナイノモ事實ハ此爲デアッタンデアリマス、此缺點ヲ補フ

ガ爲ニ、政府當局ニ於キマシテハ、モウ餘程久シイ間……十數年ノ間絶エズ注意ヲ致シテ居ッタンデアリマスガ、唯今稻畑君ノ御話ニナリマシタ通り、「メルラン」總督ノ來朝並ニ日本ヨリハ山縣公爵一行ノ渡航ニナリマシテ、大イニ兩國ノ間ノ意思ノ疏通ヲ圖ルコトガ出來ルヤウナコトニナリマシタ、餘程印度支那ノ方面ニ於キマシテハ乘氣ニナッテ参リマシテ、初メテ稅率問題ニ關シテ兩國ノ間ニ交渉ヲ開クコトガ出來得ル空氣ガ出來テ來タノデアリマス、數年前ニ於キマシテハ到底見込ノ無カッタコトモ漸ク今日曙光ヲ見得ルヤウニ至ッタンデアリマス、而シテ是等ノ交渉ハ申迄モナク巴里ニ於テ兩國ノ代表者ノ間ニ交渉ヲ致スノデアリマスガ、今日迄交渉ノ進行ガ遅々トシテ居ッタンハ、決シテ日本ヨリ面倒ナル利權ノ問題ナドヲ提出イタシタガ爲ニ行惱ミニナッテ居ルト云フ譯デハ決シテナイノデアリマス、佛蘭西ノ國內ニ色々ノ面倒ガアリマシテ、各般ノ都合上ヨリ延期ヲ致スヤウニナッタンデアリマスルケレドモ、決シテ交渉ハ行進シテ居ルト云フ譯デハナイノデアリマス、固ヨリ日本政府ト致シマシテハ稅率ヲ協定イタシマスルト同時ニ、佛領印度支那ニ對スル入國ノ問題、居住ノ問題、營業トカ、商工業ノ活動ノ問題、是等ノ點ニ付キマシテモ、成ルベクハ同時ニ若干ノ保障ヲ求メタイ、條約上規定ヲ設ケタイト云フ考ヘヲ有ッテ居リマスルケレドモ、併ナガラ是ガ爲ニ稅率ノ協定ヲ妨ゲテ居ル、斯様ナ難問題ヲ一時ニ提出イタシタガ爲ニ、稅率ノ協定ヲ妨ゲテ居ルト云フ譯デハナイノデアリマス、是等ノ問題ニ先達ッテ先ツ稅率ノ協定ヲ致スト云フコトハ双方共異存ノナイコトデアリマス、昨今此問題ニ關シテ既ニ內協議ヲ致シテ居ルノデアリ

マス、問題ガ行詰リデアルト云フヤウナ
狀況デハナイコトハ明言出來ルノデアリマ
ス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) モウ外務大臣
ニ對シテノ御質問ハゴザイマセヌカ、然ラ
バ外務大臣以外ノ國務大臣ニ對スル御質問
ハゴザイマセヌカ、若シゴザイマセヌケレ
バ此關稅定率法中改正法案ニ付キマシテ、
條文ニ依リ質問ニ入ルコトニシマス、御異
議ガナイヤウデアリマスカラ左様イタシマ
ス、ソレデハ關稅定率法中改正法律案外
參考ヲ一括シテ全部ニ付テ御質問ガアレ
バ……

○内藤久寛君 チョット質問スル譯デアリ
マスガ、第七條ノ陸海軍ノ輸入ニ係ル兵器
彈藥及爆發物等、此兵器ニ關スルコトデ御
尋ネシタイト思ヒマス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 條文ノ何處デ
ゴザイマスカ

○内藤久寛君 條文ノ第七條ノ下ノ段ノ第
七條ノ第三項……第三トナッテ居リマス所
デゴザイマス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 現行法デゴザ
イマスカ

○内藤久寛君 サウデス、コ、ニハ兵器ハ
無稅デ輸入シ得ルコトニナッテ居リマスガ、
民間ノ工業モ近頃中ニ發達シテ居リマス、
陸海軍ガ兵器ト看做スベキモノデアリマシ
テモ、一般ノ工場デ製産スルモノガ多クナッ
テ參リマスト考ヘテ居リマス、若シ一朝有
事ノ場合ニ於キマシテハ無論此陸海軍ノ工
場タケデ有事ノ用ヲ便スル譯デハナイ、民
間ノ工場モ皆總動員ヲサレルモノト信ジテ
居リマス、サウ云フコトデアルト云フト、
平素矢張り民間ノ工場ニ兵器ト看做スベキ
モノデ製作シ得ルモノハ製作セシメテ置ク
方ガ宜シイ譯デアリマス、陸海軍以外ノ政

府ノ方面ノ所要品ハ矢張り關稅ヲ受ケテ居
ル譯デアリマス、單ニ兵器タケ免稅ニナッ
テ居リマスガ、是ハ却テ或點デハ免稅ニナッ
テ居ル爲ニ兵器ガ民間ニ出來ナイ、兵器ト看
做スベキモノガ民間ニ出來ナイ結果ヲ生ズ
ルノデアリマスガ、是デハ兵器ノ獨立ヲス
ルト云フコトニ甚ダ不便不利益ノヤウニ思
ハレマス、サウ云フ點ニ付テ何カ御考慮ニ
ナッタコトガナイモノデゴザイマスカ、御
伺ヒ致シマス

○政府委員(黒田英雄君) 御尋ネノ通り唯
今現行法ニ於キマシテハ陸海軍ノ輸入ニ係
リマスル兵器ハ無稅ニナッテ居ルノデアリ
マス、内地ニ於キマシテ政府ニ於キマシテ
兵器ヲ作テ居リマスホカ、民間ニ於キマ
シテモ矢張りサウ云フ製作モ勿論段々起
テ參ッテ居ルノデアリマス、ソレ等ニ付キ
マシテハ勿論陸海軍ニ於キマシテモ内地
ノ兵器ニ於テ間ニ合フモノデアリマスレバ
内地ノ兵器ヲ用ヒルト云フコトニ致シテ、
一朝事ノアリマシタ際ニ於キマシテ、ソレ
等ノ製作ノ能力ヲ十分ニ發揮セシムルト云
フコトニハ平素注意シテ居ラレルコトト考
ヘテ居リマス、尙ホ今日直接ノヲ作ッテ居
リマセヌデモ一朝有事ノ際ニ之ヲ轉換シ得
ルト云フコトニ付テモ、陸軍當局ニ於テハ
平素十分ニ調査ヲ致サレテ居ルヤウニ承知
ヲ致シテ居ルノデアリマス、併ナガラ兵器
ニ付キマシテハ、中ニ各國ガ日ニ月ニ新シ
イモノヲ研究イタシマシテ、段々改良サレ
タ新シイ兵器ガ各國ニ於テ作ラレツ、アル
ヤウナ現況デアルノデアリマス、内地ニ於
キマシテモ免稅ヲ初メ其他ノ攻究ハ勿論致
サレテ居ルノデアリマスケレドモ、併シナ
ガラ各國ガ競ッテ新シイモノヲ作ッテ居ル現
狀ニ於キマシテハ、新シイ内地ニハ出來ナ
イト云フ風ノモノハ之ヲ入レテ内地ニ於テ

モ十分ニ攻究ヲスルト云フコトモ必要デア
リマスルシ、又内地ノ兵器ノ完備ヲスル上
ニ於キマシテモ、新シイ内地デ出來ナイ物
ハ、之ヲ入レルト云フコトハ必要デアアルノ
デアリマス、政府ガ入レルノデアリマスルカ
ラ、民間ニ出來ル所ノ物ニモ拘ラズ、唯ダ
外國品ガ徒ラニ安イカラト云フテ、之ヲ輸
入スルト云フ風ナ弊モナイノデアリマスカ
ラ、内地デ出來マス物ハ、今申上デマスカ
ウナ風ノ物ヲ輸入スルト云フヤウナ必要ノ
場合ガ生ズルノデアリマスカラ、之ヲ無稅
ニ致スト云フコトハ、内地ノ産業ヲ決シテ
壓迫スルトカ、内地ノ産業ニ不利ヲ與ヘル
ト云フヤウナコトハナイヤウニ考ヘテ居リ
マス、尙ホ兵器ノ範圍ニ付キマシテハ、陸
軍當局ト、大藏省ト、是ガ濫ニ流レルヤウ
ナコトノナイヤウニ致スコトハ、常ニ協定
ヲシテ居リマス、内地デ間ニ合フ普通ノ兵
器ヲ此條件ニ依ッテ輸入スルト云フヤウナ
コトニ付キマシテハ、大藏省ト致シマシテ
モ、サウ云フ事ノナイヤウニ、平素陸軍當
局トモ協議ヲ致シテ居ルヤウナ次第デゴザ
イマス

○内藤久寛君 是ハ此兵器ヲ無稅ニシテア
ルト云フコトハ、唯陸軍ノ方デ經費ガ減ズ
ルト云フタケデアリマス、何カ別段ノ意味
ガ加ッテ居ル譯デアリマスカ

○政府委員(黒田英雄君) 是ハ先ホ申上
デマシタヤウニ、兵器ハ非常改良サレ、殊
ニ大戰以後ハ各國競ッテ其改良ヲ致シテ居
ルノデアリマスノデ、其新シイ物ハ成ベク
早ク之ヲ入レテ完備シ、又研究ヲスル必要
ガアラウト考ヘルノデアリマス、サウ云フ
趣旨カラ入レルノデアリマスカラ、普通ノ
諸官廳デ以テ使ヒマス色々ノ器具トカ、器
械トカ云フヤウナ物トハ、性質ガ異リマス
ノデ、是ハ免稅ニスルノガ適當デアラウト

云フ趣旨デ、免稅ニ相成ッテ居ルノデアラ
ウト考ヘテ居リマス

○内藤久寛君 ソレカラ此第七條ノ十ト云
フ項目ニ至リマシテ、「官立公立ノ學校、
博物館、物品陳列所等ノ營造物、及命令ヲ
以テ指定シタル私立ノ學校ニ陳列スル標本
又ハ參考品ニシテ大藏大臣ノ認許シタルモ
ノ」ト云フノガデアリマスガ、此趣旨ヲ指定
シタル私立學校ト云フコトハ、ドウ云フ程
度ノモノニ先ツ限ラレルノデアリマスカ、
今日ノ所デハ官立、公立、私立ト云フコト
ニ於キマシテモ、別段ニ所謂差別扱ヒヲス
ル程ノコトモナイト考ヘマス、指定サレル
ト云フコトニナリマスト云フト、ドウ云フ
程度マデ指定サレルコトニナリマスカ

○政府委員(黒田英雄君) 現行ノ規定ニ於
キマシテハ、私立ノ專門學校ト云フコトニ
限定ヲセラレテ居ルノデアリマシテ、私立
ノモノニ付キマシテハ、一般ニ許サナイ、
專門學校ト云フコトニ相成ッテ居ル結果ト
致シマシテ、或ハ普通ノ學校トカ、或ハ小
學校トカ云フ風ノ所ニ於テ入レマスル物ニ
付キマシテモ、是ハ許サレナイト云フコト
ニ相成ッテ居リマシテ、先般御説明申上デ
マシタヤウニ、其點ニ於テハ稍、範圍ガ狹
キニ過ギテ居ルヤウニ實ハ考ヘテ居ルノデ
アリマス、唯今御述ベニナリマシタヤウ
ニ、私立デアリマシテモ、公立デアリマシテ
モ、官立デアリマシテモ、教育ノ爲ニ設ケ
ラレテ居ル所ノ學校ニ付キマシテ、其教育
上必要ノ參考品、標本トシテ入レマスル物
ニ付キマシテハ、是ハ等シク免稅ヲスルコ
トガ適當デアラウト云フ趣旨ヲ以テマシ
テ、範圍ヲ擴メマシタノデアリマスガ、併
シ此私立ノ學校ト致シマシテ、一般ニ廣ク
許シマスト云フト、私立ノ學校ノ中ニハ隨
分此營利ヲ目的トシテ居ルト云フ風ノ形ノ

モノモアルノデアリマシテ、サウ云フモノニマデモ此學校ト云フ名前ガアルト云フノデ許シマスト云フト、或ハ入レマシタ後ニ其學校ガ直ク廢メルト云フ風ノ事ガアルト云フコトハ、却テ之ヲ免稅シテマデ入レタ趣旨ヲ達スルコトモ出來マセズ、却テ弊害ヲ來スト云フヤウナコトモアルノデアリマスカラ、ソコデ私立ニ付キマシテハ、命令ヲ以テ指定スルト云フコトニ致シタノデアリマス、其命令ヲ以テ指定シタ範圍ハ、前申シマシタヤウナ趣旨カラ出テ居ルノデアリマス、相當ニ廣ク之ヲ致ス積リデアリマス、中學校デアリマス、小學校デアリマス、基礎カデアリマシテ、相當ト認メラレルヤウナモノニ付キマシテハ、之ヲ指定シタイト云フ考ヘテ有テ居ルノデアリマス、唯前申上デマシタヤウナ營利的ノヤウナモノトカ、或ハ其基礎ガマダ堅固デナイ、一時的ノモノデアルトカ云フ風ノモノニ付キマシテハ、是ハ除外イタシタイト云フヤウナ考ヘテ有テ居ルノデアリマス、ソレ故ニ範圍ハ相當廣クスルト云フコトハ御承知ヲ願ヒタイ

○内藤久寛君 學校ニ對シマシテハ、今ノ御説明デ分リマシタガ、此營利的ノ諸會社ニ於キマシテモ、研究所ト云フヤウナモノヲ拵ヘマシテ、其技術ニ關スル器械ノ研究ヲシテ、或ハソレヲ或部分廣ク人ニモ縦覽ヲ許シタリスルモノモ將來出來ヤウト思ヒマスガ、此學校以外ノ工業會社ナドガ研究所ヲ拵ヘマシテ、其研究所ニ備付ケテ居ルト云フ物ニ對シマシテハ、ドウ云フ御取扱ヒニナリマスカ

○政府委員(黒田英雄君) 誠ニ御尤デアリマスガ、此私立ノ研究所トカ、或ハ陳列所トカ云フ風ノモノニ付キマシテ、此規定ノ

適用ヲ廣メマスト云フコトニ致シマスト云フト、隨分此私立ノモノニ付キマシテハ、必ズシモ是ガ所謂永續性ヲ有テ居ルモノノデアリマシテ、却テ弊害ヲ生ズル虞モアルノデアリマシテ、例ヘテ申シマスレバ、此適用ヲ受ケマス爲ニ、一時陳列所トカ、或ハ研究所ト云フヤウナ名義ヲ以テマシテ、サウシテ是等ヲ免稅デ以テ輸入シテ置イテ、サウシテ直ク廢シテ仕舞フト云フヤウナコトモ行ヒ得ルノデアリマシテ、勿論中ニハ左様ナモノデナイモノモゴザイマスケレドモ、私立ノモノマデ廣メマスト云フト、多クサウ云フ事ガ行ヒ易イノデアリマス、弊害ヲ生ズル虞ガアルト考ヘルノデアリマス、大體ガ此稅率ヲ適當ニ盛リマシテ、ソレヲノ産業ガ内地ニ於テ起ルト云フコトヲ保護スルトカ、或ハ又這入テ來マ

ス物ニ適當課稅ヲスルト云フ趣旨デ稅率ガ出來テ居リマスモノヲ、斯ウ云フ風ノ規定ノ結果、是ガ濫ニ流レマシテ、ソレヲノ目的ヲ妨ゲルヤウニナリマシテハ、折角ノ稅ヲ設ケタ趣旨ガ達セラレマセヌカラ、ソレヲ必要ノモノノ範圍ヲ定メマシテ、濫ニ流レル虞ノアルモノニ付キマシテハ、之ヲ除クコトガ適當デアルト云フ趣旨カラ致シマシテ、私立ノモノハ省イテ居ル次第デアリマス

○内藤久寛君 今一ツ御伺ヒシタイノデアリマスガ、此條文ノ第十一條デハ輸入ヲ禁ジラレテアリマス品目ガ掲ゲラレテアリマス、近頃外國カラ買入レマス船舶ニ、所謂船舶ノ老朽ニナリマシタモノノ日本ニダシテ、例ヘバ外國デハ建造後二十五年後ニ嚴格ナル検査ヲ實行セラル、所ガ多イノデ、其爲ニ其検査前ニ船舶ヲ安價デ賣却スルト

云フ風ガアルト云フコトデアリマスガ、此本邦デダシノサウ云フ老朽船舶買入レルヤウニナリマスレバ、自然此内地ノ造船力ヲ維持スルトカ、或ハ海權ノ發展ヲ圖ルトカ云フコトニ缺點ヲ生ズル譯デアリマス、此コトニ付テハ此關稅ノ調査中ニ民間アタリカラ建議シタ向キモアルヤウデアリマスガ、此船舶二十年ヲ超エマシタモノ、如キハ、此十一條ニ加ヘラレマシテ船舶二十年ヲ超ヘタモノハ輸入ヲ禁止スルト云フ條目ヲ設ケラル、如キハ適當ノヤウニ考ラレマスルガ、是等ニ付テ別ニ御研究ニナツタコトハアリマセヌカ

○政府委員(黒田英雄君) 船舶ノコトハ或ハ所管ノ遞信省ノ政府委員カラ御答申上デタ方ガ適當カト考ヘマスルガ、大體審議ヲ致シマス際ニ攻究イタシマシタ點ニ付キマシテ一應申上デマシテ、不充分デアリマシタナラバ、尙ホ補充ヲ致スコトニ致シマス、此船舶ニ付キマシテハ、御説ノ通り二十年以上ニナリマシタナラ：：船ニ付キマシテハ、之ヲ禁止シタ方ガ却テ内地ノ造船業ノ上カラ見テモ、海運業ノ上カラ見テモ適當デハナイカト云フ御説デゴザイマスガ、一應御尤モト考ルノデゴザイマス、併ナガラ此古イ船ニ付キマシテモ、二十年ヲ越シタモノニ付キマシテハ必ズシモ是ガ使用ニ堪エナイト云フコトデモナカラウカト考ヘマス、勿論非常ニ惡イ古イ船ニナリマスレバ、是ハ危險ヲ伴ヒ海運業ノ上カラ見マシテモ不都合ノコト、考ヘルノデアリマス、二十年以上ノモノハ絕對ニ之ヲ輸入ヲ禁止スルト云フコトハ適當デハナイノデハナカラウカ、此處ニ十一條ニ掲ゲテ居リマスノハ或ハ此公安ヲ害シマスルモノデアルトカ、或ハ風俗ヲ害シマスルモノデアルトカ、或ハ特許權ヲ侵害スル、是ハ別デゴザ

イマスガ、公安ヲ害シ衛生風俗ヲ害スルト云フ風ナモノニ付テ定メテ居ルノデアリマス、船舶ノ二十年以上ノ船舶ノモノガ必ズシモ絕對ニ是ガ危險ノモノダト云フコトモ申サレナイト考ヘルノデス、外國ニ於キマシテモ二十年以上ノモノモ、是モ勿論航行ニ從事シテ居ルモノモ澤山アルヤウニモ承テ居ルノデアリマス、多少特別ノ検査ヲ保險等ニ付テハ要スルサウデアリマスケレドモ、併ナガラ矢張り保險モ附シテ十分ニ航行サレテ居テアリマスカラ、是モ絕對ニ禁止スベキモノデハナイノデアラウ、唯斯ノ如キモノハ輸入ヲ成ルベク抑ヘルコトガ適當デアラウト云フ考カラ致シマシテ、二十年以上ノモノニ付キマシテハ、二十圓ト云フコトニ致シ、二十年ヲ超エザルモノハ十五圓ト云フコトニ稅率ヲ致シマシテ、多少此古船ノ輸入ト云フモノニ對シマシテハ抑制スル、即チ二十年ニナリマスレバ、古船ニナツテ價格モ相當クナツテ居ル、然ルニ稅率ガ高クナルト云フコトニナリマスルカラ、稅率ノ點カラ見マスレバ、古船ハ相當率ガ重クナルト云フコトニ相成ルノデアリマス、古船輸入ハ率ノ點ニ付テ成ルベク抑制シタイト云フ趣旨ヲ現ハシテハ居リマスガ、御説ノ如ク絕對ニ禁止スルト云フコトハ適當デナカラウト云フノデ、稅率ヲ盛リマシタ次第デアリマス

○男爵斯波忠三郎君 只今ノ内藤君ノ御質問ニ敷衍シテ私モ御尋ネ致シテ置キタイト思ヒマスガ、只今政府委員ノ御説明ニ依リマススト云フト、外國デモ二十年以上ノモノヲ可成リ使テ居ルカラ之ヲ入ルルコトハ差支ナカラウ、併シ絕對禁止ト云フコトハ如何ナモノカト思フ、故ニ稅率ヲ高く盛テ輸入ヲ防グ積リデアルト云フ御説明ノヤウデアリマシタガ、私ハ先日本會議ノ席上ニ

於テモ此事ヲ一、御質問シタノデハアリマセヌガ、引用シテ御質問シタノデアリマスガ、果シテ我國ニ於テ造船業ト云フモノヲ發達助長セシムルト云フ御考デアアルナラバ、ドウモ此關稅ノ趣旨カラ見テモ、政府ノ御意カラ見テモサウアルヤウニ見エラノデス、即チ十條ノ如キハ船舶ノ建造修繕ニ用ユル鐵鋼デアリマストカ其他ノ部分品ニ付テ云々ト云フコトガアリマシテ輸入稅ヲ免除スルト云フコトガ書イテアリマスガ、私ノ知ッテ居ル範圍デハ、果シテ此部分品等ニ付テ、輸入稅ガ免除サレテ居ルカドウカ、行渡ッテ居ルカドウカ存ジマセヌ、ソレハ免モ角ト致シマシテ、免ニ角政府ト致シマシテハ造船業ヲ保護スベキ立前デ居ラレルノデアラウト思フノデス、ソレニ付テハ今内藤君ガ言ハレタヤウニ近頃非常ナ古イ船、二十年以上、甚ダシキニ至ッテハ三十年近イヤウナ船マデモ這入ッテ來ル、澤山這入ッテ來ル理由ハドコニアルカト申シマス云フト、是ハ御承知モゴザイマセウガ、戰後歐羅巴及米國方面ニ於テ古船ヲ成ルベク淘汰シテ新船ニ代ヘル、新シキ經濟的ノ船ニ變ヘルト云フコトガ、將來ノ海運業ノ競争ニ於テ、ドウシテモ順次シナケレバナラヌコトデアルト云フ見地カラ、古船ヲ淘汰スルト云フ際デアアル、而シテ日本ニ於テハ比較的此關稅率ガ安イガ爲ニドンドン這入ッテ來ルノデアリマス、海運界ハ不景氣デアルト云ッテ居リマスガ、近頃私ノ承知シテ居ル所デハ今年モ春カラ大分這入ッテ居ルヤウニ思ヒマス、其結果ドウカト云フト日本ノ造船業ハ戰後ノ打擊ヲ受ケタ結果モアリマセウシ、色々結果モアリマセウガ、非常ニ悲境ニ陥ッテ居ル、而シテ稅率ガ新船ニ於テモ非常ニ他ノ保護率ト比ベテ新造船ニ對シテモ非常ニ安イト思ッテ居リマ

ス、一噸、總噸數一噸ニ付テ十五圓ノ保護ト云フモノハ殆ド五分位ニシカ當テ居ラヌノデアリマス、現行法ノ十條ニ規定ガアリマスルカラソレヲ以テ保護サレテ居リマスガ、ソレヲ加味シテモ一割位ノモノニシカナラヌト思ッテ居リマス、然ルニ外ノ加工品ノ如キハ大體ニ二割位ノ稅ヲ持ッテ居ル、造船事業ダケハ、造船、船舶ダケガ斯ノ如ク安キノミナラズ、古船ニ對シテハ僅ニ五圓シカ違ッテ居ラス、一噸アタリガ二十圓ト云フコトデ、新船ニ付テ二十年マデハ一噸十五圓、二十年以上ノモノハ二十圓デスカ、免ニ角五圓シカソコニ差ガナイト云フコトニナル、ソコデ現在這入ッテ來ル古船ノ價格ハドウ云フモノデアアルカト云フコトヲ考ヘテ見マス、是ハ殆ンド殘品投資ニ來ルノデアリマスカラ「スクラップ」同様ノ値段デアリマス、何デモ宜イ、極ク安イ船ノ載貨量一噸ニ付テ二十五圓トカ三十圓トカ云フ位ノ値段ダト云フコトデアリマスガ、假リニ三十圓トスレバソレヲ總噸數ニスレバ五割増シシテ四十五圓、ソレニ二十圓ヲ加ヘテ六十五圓ト云フ非常ニ安イ價額デ這入ッテ來ルノデアリマス、ソレヲ、是ハ私ノ知ッテ居ル範圍ニ於テ申シテ見マス、ソレヲ一時的ノ利益ノタメニ、重モニ個人デスカ、個人船主ガソレヲ買ウ、是ハ借金ヲシテ買ウノカ何カ知リマセヌガ、買ウ、サウシテソレ等ノ船ハ、非常ニ修繕ヲ要スル、直グ用ヒラレル船デナイ、大修繕ヲ要スル、ソレデ、造船所デハ、此ノ頃失業ニ困ッテ居ルモノダカラ、サウ云フ船ノ修繕ヲ喜ンデ受ケル、サウシテ其修繕費ノ如キハ、年賦デ宜シウゴザイマス云フヤウナコトデ修繕スル、サウシテ其船ヲ使ッテ一向修繕料ハ拂ハナイト云フノガ事實デア

ル、サウ云フコトノ如キハ、日本海運業ヲ發達サセル所以デモナク、造船業ヲ保護スル所以デモナイ、ドッチニモ付カナイ、國策トシテ甚ダ困ッタ狀態デハナイカト私ハ考ヘル、内藤君ノ御質問ノヤウナ、或ハ民間ノ一方ニハサウ云フ聲ガアル、古船ヲ二十年ニシマスカ、二十五年ニシマスカ問題デアリマスガ、諸外國ノ持テ餘シテ居ルヤウナ古船ヲ日本ヘ輸入シテ、所謂日本ハ古船ノ掃キ溜デアルト云フヤウナコトニスルノハ、將來ノ日本ノ國策上、甚ダ憂ウベキ現象デアルガ故ニ、古船ノ輸入禁止ト云フヤウナ聲マデ舉ガッテ居ル、其點ニ付イテ、モウ少シ政府ガ、日本ノ造船業ノ前途ニ對シテ考ヘニナッテ居ルト云フコトヲ伺ッテ見タイト思フノデアリマス、ソレデヤ其通信省ノ方ノ才出デニナル前ニ、モウ一ツ伺ヒタイノハ、先キ程内藤君ノ御質問ニ關聯シテデスカ、第十條ニ付テ、私立學校ニ陳列スル標本ノ類ノオ尋ネガアリマシタガ、民間ノ公益法人デ以テ、研究所ヲ建テル、例ヘバ何トカ云フ協會ガアッテ、ソコデ發明獎勵ノタメニ、研究所ヲ建テルト云フヤウナコトガ實現シテ居ルヤウニ私ハ承知イタシマス、ソレ等ノ場合ニ矢張り是ハ私立デアアルカラト云ッテ、何等考慮サレヌノデアリマスカ、ソレハ特ニ大藏大臣カラ認許スルト云フヤウナ御方針デアリマスカ

○政府委員(黒田英雄君) 私立デアリマシテモ唯今御述ベニナリマシタヤウナ公益法人ニ致シテ居リマスモノニ付テ如何スルカト云フ御尋デコザイマスルガ、公益法人デアリマシテモ、私立ノモノデアリマス云フト、此規定ノ適用ガ直チニ出來ナイコトニ相成ッテ居ルノデアリマシテ、之ニ付キマシテハ、先キ程モ申上ダマシタヤウニ實ハ法人ニ致シマシテモ私立ノモノデアリマス

ト云フト、茲ニ社團トカ或ハ財團トカ云フモノヲ簡單ニ拵ヘ得ルノデアリマシテ、ソレガ爲メニ却ッテ濫ニ流レルト云フ風ナ弊モ生ズル虞レガアルノデアリマス、今日迄ニ於キマシテハ、マダソレヲ範圍ニ擴ゲルコトハ如何ト云フ風ニ考ヘテ居リマス次第デアリマス、併シ將來サウ云フモノガ非常ニ擴ク出來ルヤウニ相成リ、又十分ニ基礎モ固クナッテ、サウ云フ研究所トカ或ハ陳列所ト云フ風ナモノガ出來テ參ルヤウニナリマシタナラバ、攻究、考慮シナケレバナラヌト考ヘテ居ル次第デアリマスルガ、今日ニ於キマシテハマダ其處マデ擴ゲルト云フコトハ却ッテ濫ニ流レヤシナイカト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、尙ホ附加ヘテ申上ダマスカ、此規定ニ付キマシテハ今回大藏大臣ノ認許ト云フコトヲ加ヘマシタノデアリマス、此點ハ今日ノ現行法ノ適用ガドウモ濫ニ流レ易イノデアリマス、學校等ニ於キマシテ、是ハ官立公立ノ學校ニ於テモアルノデアリマスルガ、學校ノ參考品デアルトカ陳列品デアルトカ云フ名稱ヲ以テ非常ニ澤山ノモノガ輸入サレテ、或ハ甚ダシイノニナリマスレバ學校ニ於キマシテハ現在アル、或ル品物ヲ買入レテ、サウシテソレニハ學校ノ證明書ヲ其商人ニ渡ス、商人ハ其證明書ヲ以テ更ニ高價ノモノヲ別ニ入レル、例ヘバ「ピアノ」ニ致シテモ「ピアノ」ノ安イモノヲ學校ハ買入レテ置イテ、サウシテ「ピアノ」ト云フ證明書ヲ與ヘマスル爲メニ非常ニ高イ「ピアノ」ヲソレニ依ッテ輸入ヲシテ販賣スルト云フ風ナ弊モ隨分アルノデアリマス、又學校ニ於キマシテ參考品ト云フ名前デ非常ニ多數ノ品物ヲ入レテ、サウシテ是ガ個人ニ使ハレルト云フヤウナコトモ隨分行ハレテ參ル弊ガ往々ニシテアルノデアリマス、其爲メ

ニ之ヲ制限イタシタイト考ヘテ居リマスノ
デ、現在ノ所デハ大體此流レマセヌ範
圍ニ致シテ置キタイ考ヲ持テ居リマス、將
來ハ御述ベニナリマシタヤウニ此公益法人
等ニ付キマシテモ、サウ云フモノガ殖エテ
參リマシテ、之ニ付テ相當認メナケレバナ
ラヌト云フコトニナリマシタナラバ、適當
ナル考慮ヲ致シタイ考ヲ持テ居ル次第デ
ゴザイマス

○男爵斯波忠三郎君 公益法人ナルモノ
設立ニ付テハ元來其目的事業及ビ其理事、
責任者ノ届ケヲ監督應ニ差出シテ、ソレゾ
レ監督應カラ大臣ノ許可ヲ得ルト云フ風ニ
ナッテ公益法人ナルモノハ出來テ居ルノデ
アリマス、先程……ソレ位ノ監督デ公益法
人ガ設立サレテ居ルトスレバ、私立ノ學校
ニ陳列スル標本ト云フヤウナモノ、或ハ參
考品ト云フモノト同等ト認メラレコトハ
一向差支ナイカト考ヘラレマスガ、ソレニ
モ拘ラズ單ニ是ハ官デ……官立デナイト云
フ意味カラ、或ハ學校デナイト云フヤウナ
コトカラ、折角眞面目ニ些細ノ零碎ノ寄附
金ヲ集メテソレデ以テ研究ヲシテ居ルト云
フヤウナ、所謂公益ノ目的ヲ達シヤウト云
フモノニ對シテハ非常ナ不利ヲ取扱ヒデハ
ナイカト云フヤウナ考ガ致シマスガ、將來
此點ニ付テ十分御考慮ヲ煩ハシタイト茲ニ
希望ヲ一言申上ゲマス

○稻畑勝太郎君 今ノ御質問ニ關聯イタシ
マシテ、博物館用ノ美術品、繪畫トカ、其
他或篤志家ガ、日本ノ美術獎勵ノタメニ、
油繪ヤ何カヲ日本ヘ持テ來テ、之ヲ公衆ノ
參考ニ供スルト云フ意味デ持テ來テ居ル、
斯ウ云フモノガ、私立博物館ヲ建テテ、之
ヲ陳列スルト云フヤウナ場合ニ、大藏大臣
ノ認可ヲ經テ、無稅デ輸入サレルモノデア
リマスカ、ドウ云フ御見解デアリマスカ

○政府委員(黒田英雄君) 私立ノ博物館デ
アリマスト云フト、此ノ規定ヲ適用イタス
コトガ出來ナイノデアリマス、何故ニ官立
公立ノ博物館ニノミ之ヲ認メテ、私立ノ博
物館ヲ認メナイカト云フ問題ニ付キマシテ
ハ、先キ程來御説明申上ゲテ居ル通りデア
リマシテ、私立ノ博物館ト云フコトニ致シ
マシテ、繪畫等ヲ輸入シテ來マシテモ、直
グ其ノ博物館ヲ、場合ニ依レバ閉鎖シテ、
之ヲ販賣スルト云フヤウナコトガアリマス
レバ、或ハ販賣イタシマセヌデモ、ソレヲ
閉鎖シテ、今度ハ自分ノ自由ニスルト云フ
ヤウナコトモ自由ニ出來ルノデアリマス、
今日ノ現況ニ於キマシテハ範圍ヲ擴張マス
ト云フト、ドウモ濫ニ流レル、大藏大臣ノ
認許ト云フコトデゴザイマスガ、茲ニ此認
許ヲ付ケマシタノハ、是ハ標本カ參考品ト
云フモノヲ、實ハ認許ヲ致シテ居ルノデア
リマスガ、ドウモ之モ範圍ヲ擴張マス、
兎角斯ウ云フ規定ハ範圍ガ擴ガリタル規
定デアリマシテ、ドウモ相當制限スル必要
ヲ生ジマス、唯今斯波男爵カラ御述ベニナ
リマシタ通り、將來ニ付キマシテハ、相當
考慮ヲ致シテ參リタイト考ヘテ居リマス
ガ、ドウモ今日ノ現況デハ、マダソコマデ
擴張マスコトハドウモ濫ニ流レルヤウニ考
ヘルノデアリマス、先程モ斯波男爵ノ御述
ベニナリマシタ法人ニ付キマシテモ、隨分
認可ヲ受ケルモノモアリマス、許可スル者
モ出來ツ、アルノデアリマス、又財團法人
アタリデモ簡單ニ許可ヲ得ラレマス爲ニ、
基礎ノ完備シナイモノモ隨分アルヤウデア
リマスカラ、サウ云フ風ニナリマス、範
圍ヲ制限シテ行ク、學校デアリマス、文
部省ガ認定ヲスルトカ、指定ヲスルトカ云
フコトガアツテ、サウ云フ風ニ學校ニ於テ區
別ガ付イテ居ルノデアリマスガ、ドウモ法

人デアリマシテ、範圍ヲ限定スルト云フコ
トハ、餘程ヤリ惡イノデアリマス、サウ云
フ風ナ事情デ、今日ノ所ニ於キマシテハ餘
リ擴張マスルト、濫ニ流レマス虞レガアリ
マスノデ、此程度ニ止メタ次第デアリマス
○委員長(伯耆柳澤保惠君) 第七條ノ十
ト云フ今度ノ御改正ハ、實際斯ウ云フ規定ニ
シナケレバナラヌ事實ガ起ツカラデア
ラウト思ヒマスガ、左様デゴザイマス
○政府委員(黒田英雄君) 左様デゴザイマ
ス、段々各稅關ニ於キマシテモ、取扱ノ統
一ヲ缺クヤウナ場合モ生ジテ參リマスル
シ、又實際ノ適用ガ先般申上ゲマシタヤ
ウニ、或ル點ニ於テハ廣キニ失シテ來テ、參
考品、標本ト云フ名ニ藉リテ非常ニ廣イ範
圍ニ於テ行ハレルト云フ風ニナリマス、又
一方ニ於テハ專門學校ト云フコトニ私立ハ
限ツテ居リマスカラ、色々陳情等モ參リマシ
テ、其點ハ擴張マスル、又一方ニハ狹メル
ト云フト今日ノ實際ノ取扱ヒカラ致シマシ
テ、斯様ニ改メルトコトガ必要デアルト考ヘ
タノデアリマス

○稻畑勝太郎君 是ハ大藏當局ニ御話シ
スルコトデアリマセヌガ、美術獎勵ト云フコ
トニ付テハ各國トモ意ヲ用ヒテ居リマシ
テ、或ル國ニ於テハ自國ノ美術ヲ輸出スル
ト云フコトヲ禁止シテ居ル位デアルノデア
リマス、然レバ美術ノ參考ニナルト云フモ
ノニ於テハ、簡便ナル方法ヲ以テ輸入ヲ許
シ、成ルベク參考品ヲ我國ニ集メルト云フ
コトヲ獎勵スルト云フコトガ必要デアラウ
ト思フノデアリマシテ、ソレニハ假令私立
博物館デアツテ、ソレガ他ニ轉賣スル虞レガ
アツテモ差支ヘナイモノト、美術獎勵ト云
フ見地カラ見レバ、思フノデアリマスカラ、
此點ニ付キマシテハ、相當ナル委員會デモ
設ケテ、委員會ニ於テ我國ノ參考品ニナル

ト云フモノデアラナラバ無稅ニスルト云フ
ヤウナ方法ヲ設ケラレルト云フコトガ必要
デアラウト思ヒマスカラ、此希望ヲ述ベマ
シテ、當局ニ於テモ相當ナル考慮ヲ圖ラレ
タイト思フ

○政府委員(黒田英雄君) 御希望ノ點ハ
承ツテ大臣ニモ御傳ヘ致シマスガ、唯美術品
ト御話ニナリマシタ中デ、繪畫ニ付キマシ
テハ、稅法ノ上ニ於キマシテモ無稅ニ相
成ツテ居ルノデアリマス、唯今日特別ナル理
由、即チ我國ノ現狀カラ見マシテ必要デア
ルト云フノデ、贅澤、所謂贅澤稅ヲ掛ケテ
居ルノデアリマス、其期間中ニ於キマシテ
ハ、前申上ゲマシタヤウナ理由ニ依ツテ、
是ハ矢張り同ジヤウナ取扱ヲ致サナクチャ
ナラヌノデアリマス、是ハ今日ノ現狀トシ
テ贅澤關稅ガ必要デアルト云フ時期ニ於キ
マシテ左様ナ結果ヲ生ズルノデアリマス、
平生ニ於キマシテハ御注意ノ通り、今日肉
筆ノ繪畫ニ付キマシテハ、是ハ免稅ニ致シ
テ居ル次第デゴザイマス、尙ホ其他ノ平素
考究イタシマスル點ニ付キマシテハ、是ハ
過日大藏大臣ガ本議場デモ申シマシタヤ
ウニ、當該委員會デモ設ケラレルトコトデア
リマスカラ、將來ニ於テハ其點ニ付テ考究ヲ
致シタイ考ヘヲ有ツテ居リマス

○稻畑勝太郎君 繪畫ハ贅澤品ノ中ニ這
入ツテ居ルノデアリマスカ、現今ハ……

○政府委員(黒田英雄君) 左様デゴザイマ
ス

○男爵斯波忠三郎君 私ハ船舶ノ問題ニ付
テ御尋ヲ致シタイト思ヒマス、願クバ遞信
大臣ノ御出席ヲ願ヒタイト思ヒマス、若シ
遞信大臣ガ御差支ガアレバ、他ノ機會ニ於
テ……今日デナクテモ宜シウゴザイマスカ
ラ、他ノ機會ニ遞信大臣ノ御出席ガ得ル時
ニ於テ、私ノ質問ヲ繼續シタイト思ヒマス

○男爵鄉誠之助君 此關稅法ノ問題ヲ審議

スルニ當リマシテ、參考トシテ伺フテ置キ
タイコトハ、不當廉賣法、是ハ現在ドウ云
フ風ニナツテ居リマスガ、又日本ニ於テ今日
マデ之ヲ適用シタコトガアリマスヤ否ヤ、
又外國ノ事例ハドウ云フ風ニナツテ居リマ
スカ、私ノ承知シテ居ル所デハ、外國ニ於
テモ外交上ノ關係ニ於テ施行スルコトガ頗
ル困難デアルト云フヤウナコトモ聞イテ居
ルノデアリマスガ、日本ニ於テハ將來ドウ
云フ風ニ之ヲナサル御積リデアルカ、即チ
現在並ニ將來ニ對スル御方針ヲ伺フテ置キ
マス、更ニ附加ヘテソレニ對スル御說明ヲ
願ヒタイコトハ、假令ソレニ對スル嚴重ナ
規定ヲ設ケタニシテモ、爲替ノ關係上日本
ノ如キ斯ウ云フ頻繁ニ變動ガアル時ニ當
テハ、實際之ヲ應用スルコトガ甚ダ效力ガ
薄イ、歐洲ニハ何カソコ等ノコトヲ避ケ得
ル規定ガアルサウデアリマスガ、日本ニ於
テハソレ等ニ對シテハドウ云フ風ナ考ヘデ
アリマスガ、是等ニ付テ一應御說明ヲ伺フ
置キタイと思フデアリマス、是ハ多分商
工省ノ方カラ伺フタ方ガ適當デアリマス
マイカト思ヒマスガ、誰方カラデモ……

リマシタガ、之ヲ調査ヲ致シマスル爲ニモ
相當時ヲ要シ、十分ニ速カニ之ヲスルコトガ
困難デアルノデアリマスシ、又規定ガ「正
當價格ト同額以下」ト云フ風ニ書イテ居リ
マスルガ、此不當廉賣ト云フコトニ對シマシ
テ、ハッキリシタ規定或ハ調査上ノ色ニナ
規定ト云フ風ナモノヲ缺イテ居リマスルノ
デ、適用上ニ於テ今日マデ充分ニ之ヲ活用
スルト云フコトガ困難デアルト云フ風ナ事
情ガアルヤウニ承知致シテ居ルノデアリマ
ス、之ニ付キマシテハ勅令ヲ以テマシテ是
等ノ不備ノ點ヲ補充イタシマシテ、將來ニ
於テハ必要ナル調査モ致シ、出來ルダケ必
要場合ニハ是等ノ規定ヲ適用イタシタイ
ト云フ風ナ考デアリマス、外國ニ
於キマシテハ或ハ此規定ガ多少異リテ居ル
ヤウデアリマスルガ、斯ウ云フ現在ノモノ
ト致シマシテハ「オーストラリア」アタリデハ
斯ウ云フ適用モ致シテ居ルヤウデアリマス
シ、其他ノ國ニ於テモ斯ウ云フ規定ハ設ケ
テ居ル所ガアルノデアリマス、我國ニ於キ
マシテハ前申スヤウナ多少此規定ノ上ニ於
テ適用上マダ不充分ナ點ガアルヤウニ考ヘ
ラル、ノデアリマス、之ニ付キマシテハ之
ヲ補充致シマシテ將來成ルベクサウ云フ場
合ニ於テ適用イタシ折角關稅ヲ盛リマシタ
目的ヲ達シタイト云フ考ヲ持テ居リマス、
爲替ノ關係ニ付キマシテハ先日モ申シマシ
タヤウニ大體ハ標準ト致シマシテ取ツテ居
リマスル期間ハ三十八弗半弱ノ爲替相場ヲ
取ツタ時代ヲ取ツテ居リマスルケレドモ、併
シハ大體其期間ノ相場ヲ見マシテ現在ノ
相場並ニ過去十年間ノ價格ヲ比較イタシマ
シテ相當適當ナリト認メマスル場合ニ之ヲ
大體採用イタシテ居ルノデアリマス、其他
ノ重要ナル産業ニ付キマシテハ更ニ其上ニ
今日ノ參ッテ居リマスル價額モ調査ヲ致シ

マスシ、又内地ノ年產費等モ考究ヲ致シ、
或ハ外國品ガ果シテドレダケ競争上ニ於テ
値下ゲテ來ルデアラウカ、是モ勿論正確
ニハ知ルコトハ向フノ生產費ヲ充分ニ調査
スルト云フ風ナコトモ必要デアリマスシ、
ソレハ中ニ困難デアリマスルカラ勿論正
確ニハ參リマセヌガ、大體過去ノ實蹟
或ハ外國ニ對スル實蹟等ヲ見マシテ相
當下ル餘地ガアルヤウナモノニ付イテ
ハソレ等モ考慮シテ設ケテ居ルノデアリマ
ス、勿論非常ナ爲替相場ノ變動ガアリマ
ス、勿論影響ハアリマスルケレドモ、又爲
替相場ノ變動ガアリマスル際ニハ又外國品
モ多少ソレニ應ジテ價額等ニ於テツイテ參
ルノデアリマシテ、必ズシモ爲替相場ダケ
關稅ノ率ト云フモノノ效果ヲ動カスト云フ
モノデモナイカトモ考ヘマスルケレドモ、
併シ勿論爲替相場ハ關係ガアルコトハ御説
ノ通りデアリマスガ、如何ニ致シマシテ
モドウモ時々ノ爲替相場ニ應ズル稅率ヲ設
ケルコトガ出來マセヌ爲ニ、已ムヲ得ズ斯
ウ致シテ居ルノデアリマスガ、將來爲替相
場ガ相當ニ動カナイト、而カモ今日ノ率デ
ハ内地ノ産業ニ折角ノ盛リマシタ率ガ效果
ヲ現ハサナイト云フ風ナ際ニ於キマシテ
ハ、委員會ニ於キマシテ調査ヲ致シマシテ、
其場合ニ於テハ適當ニ處置ヲ執リタイト云
フ考ヲ持テ居ル次第デアリマス

○男爵鄉誠之助君 モウ時間ガ來テ居リマ
スガマダモウ少シ伺フテモ……

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 宜シウゴザイ
マス

○男爵鄉誠之助君 モウ少シ具體的ニ伺ヒ
タイノデスガ、勅令ヲ以テ定メルト云フノ
ハ缺陷ガアルカラ其不備ヲ補フト云フノハ
ドウ云フ風ニ其缺陷ヲ補フ考デアルカ、ソ
レカラ最後ニ御話ノ爲替相場ニ著シキ變動
ガアツタ場合ニハ適當ノ處置ヲ取ルト云フ
ノハドウ云フ風ニシテ御取リニナルノデア
リマスガ、ソレガ伺ヘレバモウ少シ伺ヒタ
イ

○政府委員(柵瀬軍之佐君) 不當廉賣ノ事
ニ付キマシテハ一體不當廉賣ト云フノハド
ウ云フコトヲ言フノデアルカ、此解釋ヲ大
體ニ於テ一定ヲ致シテ置ク必要ガアルト考
ヘマシテ、ヤガテ勅令ヲ以テ其規定ヲ致ス
所存デアリマス、即チ不當廉賣ハ輸入國ニ
於ケル正當市價、正當市價ノ上ニ更ニ運賃
保險料諸掛リ之ヲ加算シタルモノヲ正當市
價ト認メマシテ、其市價ヲ割リテ之ヲ輸入
シ若クハ販賣スルモノヲ不當ノ廉賣デア
ルト、斯ヤウニ解釋ヲ致スツモリデアリマ
ス、而シテ其正當市價ト認ムベキモノナ
イ場合ニ於テハドウスル、ト云フ時分ニハ
其國ニ於ケル生產價格即賣價格等ヲ以テ正
當市價ト認ムル所存デアリマス、ソレニ對
シテ矢張り一切ノ運賃保險料諸掛等ヲ加算
シテ而シテ之ヲ當該ノ輸入商若クハ其他ノ
者カラ是ハ不當廉賣デアルト云フ申告ヲ商
工大臣ニ申出タ場合ニ於テ、商工大臣之ヲ
不當廉賣調査會ノ議ニ付シマシテ其決定ヲ
ナスト、斯ヤウナ精神ヲ以テ不當廉賣ニ關
スル勅令ノ制定ヲ致ス所存デアリマス、物
ニ依ッテ箇々別々ニ如何ナルモノト云フコ
トハ只今カラ豫メ申兼ネマスルガ、其物ニ
依ッテ矢張り其時々ノ狀況ニ應ジテ當該
ノ關係人カラ申請ガアツタ場合ニ之ヲ不當
廉賣調査委員會ニ付シテ其決定ヲ致ス、斯
ヤウニ致シタイ所存デアリマス

○男爵鄉誠之助君 一應ハ了解イタシマシ
タガ、其正當市價ヲ割リマスノニ頗ル事實ニ
於テ困難デハナイカト思ハレノデアリマ
スガ、是ハ日本ニ於テハ餘リサウ云フ連絡
機關ガナイガ爲メニ今ノヤウナ場合ガ起リ

マシタトキニ、ドウ云フ方法ニ依ッテヤル
ノデアリマス

○政府委員(柵瀬軍之佐君) 是ハ御尋ネノ

通り頗ル困難ナ事柄デアラウト思フテ居リ
マス、例ヘテ申シマスナラバ印度カラ廉イ
銑鐵ガ這入ッテ來ル、其銑鐵ノ價格ト云フモ
ノハ果シテ正當價格デアリヤ否ヤ、印度ノ
生産ノ上ニハ印度政廳ガ之ニ保護ヲ與ヘテ
居リハセヌカ、或ハ運賃ノ非常ナル割引ヲ
シテ居リハシナイカ、特殊ナル種々ノ事情
ガ之ニ横ッテ居ルト致シマシタナラバ、所謂
當リ前ノ民官ノ補助ヲ受ケナイ會社ノ生産
品トハ甚ダシク違フノデアリマスカラ、一
面カラ之ヲ不當ノ生産、不當ノ價額ト言ヒ
得ルノデアリマス、又歐羅巴方面ニ於テモ
白耳義、或ハ佛蘭西方面デ「スチール」ガ非
常ニ廉ク、事實安イ、安イ原因ハ何デア
ルト云フト獨逸ノ賠償石炭ヲ非常ニ安ク供
給シテ之ヲ燃料トシテ使ハシテ居ル爲ニ、
其生産ガ非常ニ安ク出來ル、斯様ナ實際ノ
問題モ澤山アルト思ヒマス、其時分ニ之ヲ
果シテ正當ノ價格、正當生産ト認メ得ルヤ
否ヤ、是ニハ十分ノ調査ヲスル必要ガ無論
アルノデアリマス、併シ其調査ヲシマスル
ニハナカ、種々ナル機關ヲ經、調査ノ手
數ヲ要スルノデアリマスカラ、直チニ之ヲ
決定スルマデニハ非常ニ困難デアリマシ
テ、要スルニ、是ハ何人ガ見テモ正當ノ生
產品ニ非ズ、正當ノ市價ニ非ズト云フモノ
デアッテ、而シテ是ガ爲ニ内地ノ……日本ニ
於ケル重要工業ガ脅威ヲ受ケルト云フヤウ
ニナルモノデアリマシタナラバ、矢張り進
ンデ其方面マデ調査ヲ進メテ、其價格ヲ決
定スル必要ガアルト思ヒマス、御尋ノ通り
ナカ、實際問題トシテハ困難デアルト思
ヒマスルシ、又費用モ非常ニ要ルコトデア
リマス

○政府委員(黒田英雄君) 爲替ノ關係ニ付
キマシテチヨット御答ヘ申上ゲマス、爲替

相場ニ付キマシテハ先程申上ゲタヤウ
ニ……チヨット先程申上ゲマシタ數字ヲ間違
ヘテ申シマシタノデスガ、三十八弗ト申上
ゲタト思ヒマスガ、大體四十八弗半位ノ期
間ノ價格ヲ取ッテ居ルノデアリマスカラ、其
他色ノ狀況ヲ斟酌シテ決メテ居ルト申シ
マシタガ、大體サウ云フ相場ノ時期ヲ取ッ
テ居リマスノデ、爲替相場ハ平準價格ニ復シマ
シテモ大シタ支障ハ無カラウト考ヘテ居リ
マスガ、併ナガラ將來、品物ノ價格或ハ爲替
相場ノ關係ニ於キマシテ、相當永續シタ其
事業ニ對スル稅率ガ適當デナイト云フヤウ
ナ場合デアリマシタナラバ、今回設ケラレ
マスル關稅ノ常設委員會ニ於キマシテ常ニ
調査ヲ致ス積リデアリマス、其委員會ニ於
テ十分諮問シ調査ヲ致シマシタ結果、適當
ナル處置ヲ執リタイト云フコトヲ申上ゲマ
ス次第デアリマス

○男爵郷誠之助君 私ノ申シマスルノハサ
ウデハナイ、稅率ヲ盛ルニ對シテノ爲替關
係ニ付テハ、是迄ニ大體ノコトハ御説明デ
伺ッタノデアリマス、私ノ申スノハ不當廉
賣ニ對シテ、不當廉賣法ノコトヲ行ハレテ
モ爲替ノ變動ガ非常ニヒドイ若シ時ニ
ハ、向ウノ品物ガ一面ニハ不當廉賣法ヲ設
ケテ置カレテモ、内地ノ生産品ニ對シテ若
シク安クナル、其モノニ對シテ不當廉賣法
ヲ應用スルコトハ出來ナイ、不當廉賣法ト
云フモノハ爲替ノ變動ノ爲ニ效用ヲナサヌ
ト云フ場合ガアル、ソレハ、何カノ方法ニ依
テ抑ヘテ居ルト云フコトヲ聞イテ居ルノデ
アリマスカラ、日本ニ於テモ不當廉賣ニ對
シテ御考慮ニナル際ニ、其コトヲ如何ニ御
考慮ニナルカト云フコトヲ伺ッタノデアリ
マスカラ、矢張り此間モ御説明デスガ、印

度ノ銑鐵デアルトカ歐羅巴ノ鋼鐵ト云フモ
ノヲ例ニ御引キニナツタガ、ソレ等ハマダ

比較的容易ト思ヒマスガ、其外ニ實際上ニ
於テ値段ヲ定メルト云フコトハ誰ガ見テモ
是ナラバ異存ガ無イト云フヤウナ正確ナモ
ノヲ定メルト云フコトガ、實際上、非常ニ
困難デアルト云フノハ、日本ニ於テハ連絡
ガサウ云フ方面ニ對シテ少イ故ニ、私ノ申
スノハ、折角御質問リニナツテ不當廉賣法
等ニ對シテ勅令ヲ以テ種々御制定ニナルニ
シタ所デ、何モ役ニ立タヌト云フヤウナコ
トニナルコトヲ恐レテ、チヨット伺ッタ次第
デアリマス

○政府委員(柵瀬軍之佐君) 不當廉賣ノ調
査委員會ノ審査スベキ總テノ事項ハ、サウ
澤山アルモノデハナカラウト思フテ居リ
マス、衆議院デモ斯様ナ質問ガ起リマシタ、
假リニ歐米ノ市場ニ於テ「オークション」ナ
ド品物ヲ買ッテ來ル、向ウノ棚卸品ヲ買
テ、サウシテ之ヲ輸入シタ場合ハドウナル、
ソレハ意思ハ惡意デアッテモ、善意デアッ
テモ、一向差支ナイト云フヤウナコトガ質問ノ
内ニアッタノデアリマス、是等ハ矢張り豫メ其
場合ニハ斯ウスル、ア、スルト云フコトハ
申シ兼ルノデアリマス、是ハ矢張り其時ノ
狀況、事業ニ立脚シテ調査委員會ノ議ニ付
シテ其判斷ヲ求ムル外ナイ、從テ今御尋ノ
コトニ對シテ、要ハ日本ノ重要品ガソレガ
爲メ脅威ヲ受ケル、成立タナイト云フ事實
ガ現ハレマシタナラバ、其利害關係人ノ申
請ニ依ッテ、委員會ヲ開クノデアリマスカ
ラ、其委員會ノ其時ノ決定ヲ待ツ外、何ト
モ申上ゲラレナイ、豫メ今カラ此場合ニハ
斯ウスル、アノ場合ニハ斯ウスルト云フコ
トハ申シ兼ルマス、免ニ角、勅令ニ規定シ
テアリマスル所ノ不當廉賣法ノ精神ハ、此
精神ニ則ッテ趣旨ノ目的ヲ達スルヤウ、

商工省トシテハ致シテ居ルノデアリマス、
併シ特ニ調査委員會ト云フモノヲ設ケラレ

ルノデアリマスカラ、其調査委員ノ諸君ノ
決定ガ如何ニナルカ、今日ヨリ豫メ申上ゲ
ルコトハ出來マセヌ、唯、商工當局トシテ
ハ之ニ依ッテ重要工業ヲ保護スル、斯様ニ考
ヘテ居ル次第デアリマス

○男爵郷誠之助君 他ノ機會ニ於テサウ云
フコトヲ伺フカ知レマセヌガ……

○政府委員(黒田英雄君) 爲替相場ノコト
デアリマスガ、私ハ十分ニ御質問ヲ了解イ
タサナカッタノデアリマスガ、不當廉賣ニ
關シマシテノ爲替相場ノ關係ニナリマスル
ト、是ハ爲替相場ノ關係ハ全般ノ物ニ及ボ
シテ參リマスノデアリマスカラ、其品物ダ
ケニ付テ不當廉賣ノ價格ヲ決メマスル上ニ
於テ、之ヲ見ルコトハ困難デハナカラウト
考ヘテ居リマス、其場合ニ於テハ單リ不當
廉賣ニ於キマスル品物バカリデナク、一般
ノ品物ガソレダケノ影響ヲ受ケルノデアリ
マスカラ、ソレハ稅率ノ點ニ於テ、先程申
上ゲタヤウニ考慮イタサナケレバナラヌコ
ト、考ヘテ居リマス、尙ホ序デニ申上ゲマ
スガ、先程申上ゲマシタヤウニ、今回ノ標
準ガ四十八弗半ニナツテ居リマス、是ヨリ
下ガリマシタ場合ニ於テハ價格ガ……輸入
價格ガ上ガレ傾ガアルコトハ申上ゲル迄モ
ナイコトデアリマスガ、上ガレ傾ガアルノ
デアリマスカラ、是ハ不法ニナル、然ラバ
圓ガ寧ろ騰貴ノ場合ヲ想像イタシマスルト、
標準價格ガ其以上ニ騰タ場合ヲ想像イ
タサナケレバナラヌノデアリマス、ソノ騰
リマシタ最高ノ例ヲ見マシテモ、サウ騰
テ居ラヌノデアリマス、大體四十八弗半ノ
相場デアリマスレバ、サウ大シタ影響ハ無
カラウト考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ
併シ將來ノコトデアリマスカラ、茲ニ斷言

シテ申上グルコトハ出來ナイノデアリマス、其變更ノ場合ニ於テハ、一般のニ考慮シナケレバナラヌノデアッテ、不當廉賣ノミニ付テ爲替相場ヲ考慮イタスト云フコトハ、困難ハナイカト考ヘテ居リマス

○稻畑勝太郎君 此税目ノ類別ニ付テ審議イタシマス前ニ、奢侈税ノ將來ノ方針ニ對シテ、一度、大藏大臣ノ意見ヲ聴キタイト思フノデス、大藏大臣ノ御出席ヲ一ツ願ヒタイト思ヒマス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 宜シウゴザイマス、此會ハ午後モ開キマスカラ、請求イタシマス、休憩イタシマス、午後一時ヨリ開會イタシマス

午後十二時十一分休憩

午後一時三十八分開會

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 午前二引續イテ開會イタシマス

○稻畑勝太郎君 大藏大臣ガ、御多忙ノ際ニ態、大藏大臣ヲ煩ハシタコトハ恐縮デゴザイマスガ、奢侈税ニ付テ御質問ヲ申上デタイト思ヒマス、政府ハ今回ノ關稅改正ヲナスニ當リマシテ、奢侈税ヲ課シテ居ル各種ノ品目ニ付テ、奢侈税設置ノ趣旨ニ鑑ミテ、一切手ヲ觸レナイコトニシタト云フコトデアリマスガ、是ハ大イニ考フベキコトデアラウト存ジマス、第一ニ奢侈税モ餘リニ廣汎ニナルト只物價ヲ昂騰セシムルダケデ、好イ結果ガ得ラレナイコトデアリマスルガ、其品目ノ取捨選擇ニ付キマシテハ、絶エズ社會ノ實狀ヲ調査シテ當ニ表面のノ觀察タケニ因ハレナイヤウニスルコトガ肝要デアルト存ジマス、ソコデ政府ハ現在ノ奢侈税ニ付キ、必要ニ應ジ近キ將來ニ於テ、適當ノ改正ヲ加ヘラレル意思ガアルカドウカト云フコトヲ御伺ヒ致シタイノデアリ

マス、第二ニ此奢侈税賦課ノ爲ニ、外國ニ於テ我商品ニ對シテ報復のニ高イ稅ヲ課セラレルト云フ不利益ヲ蒙ッテ居ル例ガアリマス、最近ニモ北京ニ於キマシテ開カレテ居リマスル支那關稅會議ニ於テモ、支那政府ヨリ提出イタシマシタ奢侈品稅目中ニモ、多數ニ我國カラ輸出イタシマスル必需品マデモ此中ニ含マレテ居ルト見受ケルノデアリマス、此奢侈税ノ品目ヲ取捨シ又ハ輕減スルト云フ必要ガアラウト存ジマスルガ、例ヘバ稅番號ノ第三百五號「メリヤス」地其類似ノ編ミタル布帛ノ中ニ、我國ハ絹製品ノ「メリヤス」ガアリマスルガ、是ガ我國ニ英國カラ輸入シテ居リマスル絹製品ガアリマスルガ、是ハ十割ノ奢侈税ヲ課セラレテ居ルノデアリマス、是等ガ原因ニ幾分ナルト思ヒマスルガ、我國カラ英國ニ輸出シテ居リマスル多量ノ「メリヤス」品ニ對シテ、英國ニ於テ屢、此關稅引上ト云フコトノ運動ガ起ルノデアリマス、最近ニモ英國ニ於テ我國カラ輸出スル所ノ「メリヤス」ニ課稅ヲスルト云フ議ガ起リマシテ、全國ノ商業會議所カラ英國ノ各商業會議所ニ打電ヲシテ、此課稅ヲ止メサスト云フコトノ運動ヲシタコトガアリマシテ、當業者ハ非常ニ困ッテ居ル事實ガアルノデアリマス、是等モ大ニ講究シテ適當ナル方法ヲ講ズル必要ガアルト存ジマス、之ヲ要スルニ奢侈税創設ノ大目的ハ洵ニ宜イ目的デアリマシテ、我々モ大ニ賛成ヲシテ居ルノデアリマスルガ、其實行上目的ニ副ハナイモノハ速ニ適當ノ手段ヲ講ズルコトガ、我產業發展上必要ナルコトト信ジマスル、ソコデ私ハ大藏大臣ノ奢侈税ハ此際一切手ヲ觸レズニ據置ニスルト云フ御聲明ニ對シテ遺憾ニ存ズル次第デアリマスルカラ、此際一層徹底シタ御考ヲ伺ッテ置キタイト存ズルノデアリマ

ス
○國務大臣(濱口雄幸君) 御答ヲ致シマスガ、一昨年度ノ特別議會ニ於キマシテ、兩院ノ協賛ヲ經テ警備品稅ヲ施行イタシマシタ其趣旨ハ、其當時議會ニ於テ私説明ヲ申上ゲテ置キマシタ通りデアリマス、御答ノ順序ノ上カラ私ソレデ繰返ヘシテ申シマスガ、第一ニハ御承知ノ通りノ經濟上ノ非常ナル所ノ難境、殊ニ貿易上ニ於ケル所ノ入超ノ勢ガ餘程猛烈デアル、經濟上カラ申シマススト云フト國民ガ非常ニ努力緊張ヲシナケレバナラヌ時ニ當ッテ、動モスルト云フト國民ノ精神ガ緊張ヲ缺イテ居ル、其緊張ヲ缺イテ居ルト云フ事柄ガ各般ノ方面ニ向ッテ甚ダ好マシカラザル所ノ影響ヲ及ボシ、是ガ爲ニ財界ノ整理モ行ハレマセヌシ貿易ノ逆調モ轉回サレマセヌ、總テノ方面ニ於テ憂フベキコトデアルト云フコトヲ考ヘマシタノデ、茲ニ於テ警備品稅ヲ設ケマシテ、第一ニハ緊張ヲ失ヒ掛ケテ居ル所ノ國民ノ精神ニ向ッテ強烈ナル所ノ刺激ヲ與ヘル一ツノ材料トスル、是ガ第一ノ目的デアッタノデアリマス、第二ノ目的ハ警備品稅ノ設定ニ依リマシテ、サウシテ大シタ數字ニハ上ボルマイト考ヘマスケレドモ、出來得ル限り輸入金額ヲ減少スルト申シマシテモ或ハ生活ノ必需品ニ對スル所ノ輸入ヲ制限スルトカ、或ハ製造工業ノ原料材料ノ輸入ヲ制限シヤウト云フ意味デハ行キマセヌケレドモ、是ハ無クテモ宜シイ物デアル、或ハ内地ニ代用品ガアルト思ハレルモノニ對シテハ、其輸入ヲ抑制イタシマシテ、ソレニ依ッテ貿易ノ差額ヲ及ブダケ之ヲ少カラシムルト云フコトガ第二ノ目的デ此奢侈税ヲ行ッタノデアリマス、固ヨリ此奢侈税ノ一ツノ手段ニ依リマシテ總テノ目的ヲ完全ニ達スルコトノ出來ナイコトハ申スマデモナ

イコトデアリマス、政府ノ財政經濟上ニ特テ居ル所ノ各種ノ政策ガ統一シマシテ、組織シマシテ、サウシテ綜合的ニ其目的ヲ幾分タリトモ達スルコトガ出來レバ國家ノ爲ニ此上モナイ幸デアルト考ヘタノデアリマス、其一端トシテ行ヒマシタノガ即チ此奢侈税デアッタノデアリマス、其後ノ狀況如何ト考ヘテ見マスルト、他ノ政策ト力ヲ合セマシタコトハ無論デアリマス、又一面ニ於テ最も重キヲ置クベキ事柄ハ國民ノ自覺デアリマス、國民ノ自覺ト相俟ッテ幸ニシテ此奢侈税ヲ設ケマシタ所ノ目的ガ、先ヅ大體順調ニ之ヲ達成セムトシツ、アル狀況ニアルト考ヘテ居リマス、即チ御承知ノ通り此頃デハ勤儉力行ト消費ノ節約ト云フコトガ廣ク國民ノ各階級ノ間ニ行ハレテ、又各地方ノ間ニ餘程廣ク強ク行ハレテ居ルト、私ハ思ッテ居リマス、ソレガ爲ニ種々ノ方面ニ向ッテ良好ナル影響ヲ及ボスデアラウト云フコトヲ期待シテ居リマス、固ヨリ十分ハ申シマセヌガ、其微候ノ端緒ハ餘程現ハレテ居ルト思ッテ居リマス、ソレカラ第二ノ目的デアッタ所ノ奢侈税ヲ課シマシタ所ノ物品ノ輸入高、ソレガ果シテ稅法設定ノ時ニ期待シテ居ルガ如クニ、其輸入ヲ抑制スルコトガ目的ヲ達成スルコトガ出來タカドウカト云フコトヲ統計のニ考ヘテ見マスルト、是亦大體ニ於テ其目的ヲ達スルニ近カラムトスル狀況デアリマス、是ハ數字ヲ以テ申上ゲマスルガ、奢侈税ヲ設ケマシタ時カラ週リマシテ一年前、即チ大正十二年ノ八月カラ大正十三年ノ七月ニ至ル所ノ滿一箇年間ニ於ケル、奢侈税ヲ課セラレマシタ品物ノ輸入ノ金額ト、ソレカラ奢侈税設定後ニ於ケル一年間ノ輸入ノ金額、即チ大正十三年ノ八月カラ十四年ノ七月ニ至リマス滿一箇年間ノ奢侈税ヲ課セラ

レタル輸入ノ金額ハ之ヲ比較シマス、奢
修税設定前ノ一年間ノ輸入ノ總額ハ、四千
三百十六萬一千圓デアリマシタ、是ハ奢修
税設定前ノ輸入ノ總額デアリマス、其四千
三百十六萬一千圓デアリマシタモノガ、設
定後ノ滿一年後ニ於テ一千九百八十七萬四
千圓ニ減少イタシマシタ、即チ二千三百二
十八萬六千圓ノ減少デアリマス、碎イテ申
シマスルト云フト、奢修税設定後ハ設定前
ニ比較イタシマシテ五割四分ノ減少ヲ見テ
居リマス、即チ僅カニ四割六分ニ留テ居
ルト云フ狀況デアリマシテ、大體ニ於テ輸
入抑制ノ目的ハ達スルニ近シト申上ゲテモ
差支ハナカラウト思ヒマス、サテ輸入金額
ハ其通りデアリマスガ、然ラバ替澤品ニ向
テ從價十割ノ高率ヲ課シマシタコトニ依
テ、其當時各方面ニ於テ心配セラレマシタ
如クニ内地ノ物價ガソレダケ騰貴シタカド
ウカト云フ問題デアリマス、奢修税ヲ提案
ヲ致シマシタ時ニ、貴衆兩院ニ於テ種々ノ
御議論ガアリマシタ、此御議論ノ有力ナル
一ツト致シマシテ、奢修税ヲ課スルト云フ
トソレニ相當スル所ノ内地品ノ物價ガソレ
ダケ騰貴スルト云フ心配ガアル、其内地品
ノ物價ガ騰貴スレバ獨リ其種類ノ品物ニノ
ミ留マラズ、其影響ガ廣ク内地ノ一般ノ物
價ノ上ニ影響ヲ及ボシテ、内地ノ物價が一
般ニ騰貴スルト云フ結果ヲ生ジハシナイカ
ト云フ御心配ガアツタノデアリマス、ソレ
ニ對シマシテサウ云フコトハヨモヤアルマ
イト云フコトヲ申上ゲテ置キマシタガ、其
結果ヲ調べテ見マスルト、最近ノ……即チ
本年ノ二月、此二月ニ於ケル替澤税ヲ課シ
テアリマス所ノ三十五種類ノ品物、東京ニ
於ケル所ノ其物價ヲ見マスルト云フト、是
ハ小賣リ相場デアリマスルガ、輸入品ニ於
キマシテハ、此法律ノ施行前ニハ百デアリ

マシタモノガ、百四十一ニナツテ居リマシ
テ、即チ輸入品ノ物價ハ四割一分ノ騰貴ニ
ナツテ居リマス、然ラバソレニ相當スル所
ノ三十五種類ノ内地品ノ物價ハドウデア
カト申シマスルト、内地品ノ物價ハ平均ガ
百デアリマシタモノガ百〇三ト云フコトニ
ナツテ居リマシテ、三分ノ騰貴ニシカ當
テ居ナイ、斯ウ云フ狀況デアリマス、嘗テ私
共ノ多少心配シマシタ所ハ、輸入品ガソレ
ダケ上レバ丁度大體其割合ニ於テ内地ノ同
種類ノ品物モ騰貴スルデアラウ、從テソ
レガ内地ノ一般ノ物價ニ影響スルデアラウ
ト云フ心配ヲ致シマシタガ、此數字ヲ能ク
研究致シマスルト、幸ヒニ致シテ輸入品ハ
上テ居リマスルガ、内地品ニ付キマシテ
ハ殆ド物價騰貴ノ跡ヲ見ナイ、斯ウ云フ狀
況ニナツテ居ルノデアリマス、是ハ獨リ本
年三月ノ相場ノミデハアリマセヌ、昨年
ノ九月、十月、十一月、十二月、本年ノ一
月……五箇月ニ亘テノ調査イタシマシタ
ガ、何レノ時ヲ見マシテモ輸入品ハ四割以
上ノ騰貴ニナツテ居リマスルケレドモ、内
地品ハ僅カニ五六分、少イノハ三分位ノ騰
貴ニシカナツテ居ナイ、内地ノ物價ニ殆ド
影響ト云フモノハナカッタト申シテモ宜シ
ト思ヒマス、是ハ大體ニ於キマシテ奢修税設
定後ノ其輸入品ニ及ボシタル影響、ソレデ
ソレガ内地ノ物價ニ及ボシタル影響、之ニ付
テノ大體ノ觀察デアリマス、ソコデ然ラバ
唯今稻畑君ノ御質問ニナリマシタ所ノ、將
來ニ向テ此奢修税ト云フモノニ一切手ヲ
觸レヌデ其儘ソク置キ積リデアアルカト
云フ御質問デアリマス、如何ニモ、此度ノ
關稅ノ一般ノ改正ヲ行ナヒマス時ノ説明ト
致シマシテハ、此度ノ關稅改正ニ於テハ奢
修税ハ別問題トシテ一切手ヲ觸レヌト申シ
テ居リマス、然ラバ是ハ將來絕對ニ手ヲ觸

レヌ積リデアアルカト申シマスルト、ソレハ
サウデアリマセヌ、是ハ其時ノ宜シキニ從
ヒマシテ、此品物ハ如何ニモ不都合デア
ル、奢修税カラ除イテ宜カラウト云フコトヲ發
見イタシマスレバ、篤ト之ヲ調査研究ノ上
除イテ宜カラウト思フモノガアリマシタナ
ラバ、是ハ除イテ差支ナイト思ヒマス、或
ハ是ト反對ニ更ニ奢修税トシテ附加ヘテ宜
シイモノガアルト云フコトヲ確カメルコトガ
出來マシタナラバ、其必要ニ應ジテ議會ノ
御協賛ヲ經マシテ、是ハ附加ヘルコトモ出
來ルカト思ヒマスルガ、一切手ヲ觸レヌト
申シマシタノハ此度ノ提案イタシマシタ所
ノ關稅率ノ一般改正ニ於テハ一切手ヲ觸レ
ナイト云フ意味デアリマス、是ハヨク御了
承ヲ願フテ置キタイノデアリマス、從テ將
來時ノ必要ニ應ジマシテ、又内外諸般ノ狀
況ヲ判斷イタシマシテ、改正ノ必要ヲ認ム
ルモノヲ發見イタシマシタナラバ、案ヲ具
シテ御協賛ヲ仰グデアラウト思ヒマス、ソ
レカラ日本デ奢修税ヲ起シタト云フコトハ
外國ノ報復稅ヲ挑發シタヤウナ實例ガアル
デハナイカト云フヤウナ御質問ガアツタヤ
ウデアリマスケレドモ、私共ノ考ヘマスル
所ニ依リマスルト別ニ日本ガ奢修税ヲ
行ツタカラソレガ爲ニ外國ガ報復稅ヲ拵ヘ
タト云フヤウナコトハナイヤウニ考ヘテ居
リマス、如何ニモ御説ノ通り支那ノ關稅會
議ニ於キマシテハ、奢修税ト云フモノヲ支
那政府ガ提案ヲ致シマシテ、其理由ヲ説明
スル時ニ於テ、日本ノ奢修税ノコトヲ例ト
シテ引用イタシテ居リマス、併ナガラソレ
ハ單ニ支那ガ奢修税ヲ設クルト云フ、其説
明ヲスル口實ニ取ツタダケデアリマシテ、
別ニソレガ形ノ上ニ現ハレタ譯デモアリマ
セヌシ、又其事柄ガ大ニ害ヲナシテ居ル、サ
ウ云フ程度ニ達シテ居ルモノトハ認メテ居

ラヌノデアリマス、ソレカラ英國ノ例ヲ御
舉ゲニナリマシタケレドモ、英國ノ絹織物
ニ關スル所ノ輸入關稅ハ是ハ種々ノ目的ヲ
以テ行ハレタモノト考ヘマス、無論奢修品
ノ輸入抑制ト云フコトモアツタノデアラウ
ト思ヒマスガ、一面ニ於キマシテ歳入ノ増
加ト云フコトモ兼ネテ之ヲ行ツタヤウニ承知
ヲ致シテ居リマス、又他ノ一面ニ於キマシ
テハ内地ノ産業ノ振興、延イテハ失業者救
濟ニマデ及ボス考ヲ以テ行ツタモノノヤウ
ニ承知ヲ致シテ居リマシテ、別ニ日本ノ奢
修税ト云フモノガ外交上煩ヒヲナシタト云
フ形跡ハ政府ト致シマシテ今日マデノ所認
メテ居ラヌノデアリマス、併シサウ云フコ
トヲ認メテ居ラヌガ爲ニ將來一切手ヲ觸レ
ヌト云フ意味デハ無論アリマセヌ、其點ニ
付キマシテハ唯今稻畑君ノ御問ノ通り、將
來ニ於テ不都合ヲ發見イタシマスレバ相當
ノ改正ヲ致スコトニ各カナルモノデハナイ
ト云フコトヲ申上ゲテ置キマス
○稻畑勝太郎君 唯今大藏大臣ノ御説明ニ
依ツテ了解ヲ得マシタガ、尙今後ニ於キマシ
テ奢修税品目中ニ工業用ノ原料ニ屬スルモ
ノ、或ハ唯今申シマシタ絹織……英國カラ
輸入イタシマス「メリヤス」ノ如キモノハ、斯
ウ云フモノハ、斯ウ云フモノハ僅カノ輸入
デアリマスルガ、之ヲ奢修税十割ヲ課シテ
居ルノハ矢張り英國ニ於テ我方國カラ輸出
イタシマス「メリヤス」ニ課稅ヲスル理由ヲ
與ヘルノデアリマシテ、現ニ英國カラモサ
ウ云フ理由ヲ一ツ理由トシテ言フテ來テ居
ル、書面ニ接シテ居ルノデアリマスガ、是
ハ固ヨリ唯今大藏大臣ノ御説明ノ通りソレ
ガ爲ニ「メリヤス」ニ……日本ノ「メリヤス」
ニソレノ理由ニ依ツテ稅ヲ掛ケルト云
フ譯デアリマセヌケレドモ、併シ日本ノ
「メリヤス」ニ稅ヲ掛ケルト云フ論者ニ對シ

テハ一ツ武器ヲ與ヘルコトニナリマスノ
デ、將來ニ於キマシテ適當ト御認メノ時ニ
ハ適當ノ修正アラムコトヲ希望イタシマス
○倉知鐵吉君 私人議事ノ進行ニ付テ申上
グヤウト思ヒマス、宜シウゴザイマスカ
○委員長(伯爵柳澤保惠君) 宜シウゴザイ
マス

○倉知鐵吉君 本案ニ關スル一般的御質問ハ
大分進行イタシマシタガ、尙ホ皆サン澤山
ノ御疑問ガアルカモ知レマセヌガ、一方豫
算ノ審査期限ノコトヲ考ヘマスルト云フ
ト、各分科ノ決定ハ來ル二十一日中ニシナケ
レバナラヌコトニナッテ居リマス、デ成ルベ
クナラバ、收入豫算ニ關係ガアリマスカラ
本案ノ決定ハ二十一日中ニヤランケレバナ
ラヌト思ヒマスカラ、コ、ラデ、一般的ノ
質問ヲ御打切りニナリマシテ、直チニ各論
ニ御入りニナッテ、各論ノ中デモ小麥、鳥卵
或ハ銑鐵或ハ染料ト云フヤウナ大分混ミ
入ッテ問題モアリマスカラ、是等ハ十分ニ
御研究ヲ願ハナケレバナラヌト思ヒマス
ガ、大體ハ類毎ニ質問ヲ纏メテ爲サレルコ
トニ致シマシテ、第一類ノ質問ガナカッタ
ナラ第二類、第二類ノ質問ガナカッタナラ第
三類ニ、ズット十七類マデアリマスカラ類
毎ニ質問サレテ、ドン、進行シタ方ガ宜
イカト思ヒマスガ、如何デゴザイマスカ

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 大體モウ大體
ノ御質問モナイヤウニ考ヘテ居リマスカ
ラ、倉知君ノ申サレタヤウニ進行シタイト
考ヘテ居リマシタガ、只今倉知君ヨリ左様
御申出デガアリマシタニ付イテ、左様シタ
ラ宜カラカト思ヒマスガ如何デスカ
〔賛成々々〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 然ラバ先ツ條
文ノ方ハ濟シタコトニ致シマシテ、別表ノ
方ニ移リマス、是モ倉知君ノ御申出ノ如ク

類別ニ付イテ審議シタイト考ヘマス、先ツ第
一類：政府委員ノ方ニマダ御註文ガアリ
マスカ
○和田彦次郎君 チョット伺ヒマスガ、第一
類ヲ唯今問題ト致シテ、質問ガアルナラバ
質問致スノデアッテ、コ、デ討論決議ト云フ
コトニハシナイノデゴザイマスルカ、直チ
ニ是ハ討論決議ニ入リマスノデスカ
○委員長(伯爵柳澤保惠君) 私ハ左様考ヘ
テ居リマセヌ、先ツ質問ヲ先キニ致シマシ
テ、全部濟シデカラ左様シヤウト考ヘテ居
リマス

○和田彦次郎君 解リマシタ
○委員長(伯爵柳澤保惠君) 一類ハ第一カ
ラ第十一マデアリマス
○稻畑勝太郎君 質問ヲズット終テカラ意
見ヲ申スコトニナルノデスカ、第二讀會
デ：

○委員長(伯爵柳澤保惠君) サウデゴザイ
マス
○和田彦次郎君 一類ニハ質問イタシマス
コトハゴザイマセヌ
〔ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 八條君ガ何カ
アルト云フコトデスカラ御退席デゴザイマ
セウガチヨット御待チテ願ヒマス、：：：チ
ヨット御諮リ致シマスガ、伊集院子爵ハ委
員デナイノデゴザイマスガ、質問シタイト
云フ御請求デゴザイマス、許可シテ御異議
ゴザイマセヌカ

〔異議ハゴザイマセヌ〕ト呼フ者アリ
○委員長(伯爵柳澤保惠君) ソレデハ直チ
ニ參リマスデゴザイマスカラ、許可イタシ
マス：：伊集院子爵、今委員會ノ許可ヲ得
マシタノデスカ、御質問ナサルノハ一類デ
ヤナイノデスカ、此間一類ダト云フコト、而
モ第九ノ魚介類ダト云フコト迄伺テ居リ

マスガ：：ソレデハ一類ハ御質問ゴザイマ
セヌカ
〔ナシ〕ト呼フ者アリ
○委員長(伯爵柳澤保惠君) 御質問ナシト
認メマシテ第二類ニ移リマス、二類ハ十二
カラ三十迄アリマス

○男爵東郷安君 小麥ノコトニ付キマシ
テ、昨日ノ質問應答ニ續イテ農林省ノ政府
委員ニ伺ヒタイ、昨日ノ神野君ニ對スル御
説明ノ中デ、關稅引上ゲニ依ッテ農家ガ刺
戟ヲ受ケル、從テ其作附反別ガ増加スル、
其御見込ハ大凡一毛作ガ二毛作ニ増加スル
コトニ依ッテ約四十万町歩程デアルト云フ
御答辯デアッタト記憶イタシマスガ、左様デ
ゴザイマスカ

○政府委員(小松壽君) 唯今ノ御尋ニ御答
申上ゲマス、昨日御質問ノ際ニ申上ゲマシ
タ即チ今回ノ修正ニ付キマシテノ稅率ヲ増
シマシタ結果トシテハ、生産方面ヲ刺激シ
テ尙ホ其生産ノ増加ヲ圖リ得ル、而シテ差
當、テ一毛作ヲ爲シ得ル面積ガ、小麥作ノ作
附ヲ増スモノ約四十七万町歩ト御答ヲ申上
ゲテ置キマシタ

○男爵東郷安君 チョット御手許ニアリマ
スル此作附反別ノ表、竝ニ各府縣別ノ麥ノ
生産高ガゴザイマシタラバ御覽ヲ願ヒマ
ス、最近數年間ニ於ケル麥ノ作附反別ハ約
四十八万カラ四十六万圓ヲ上下シテ居リマ
ス、即チ唯今ノ御示シノ數字ノ四十七万町
歩ト云フノニ略、匹敵ヲ致シテ居ルノデア
リマス、サウシマスルト云フト、今回關稅
引上ニ依ッテ刺戟サレテ、新タニ増加スル反
別ノ増加モ亦四十七万町歩デアルト、即チ
現在ノ作附反別ニ倍加スルト云フコトニナ
ル、結果カラ申上ゲマスト關稅率ガ約倍加
シタ爲ニ作附反別モ亦倍加スル、斯ウ云フ
ヤウナ數字ガ現ハレルノデアリマスガ、恐

ラクサウ云フ論理デ御話ナサッテ居ル譯デ
ハナイト思ヒマスガ、併シ結果カラ申スト
サウ云フコトニナル、是非非常ニ意外ナ御
答辯デアルト思フノデアリマス、暫ク小麥
ノ作附反別ノ内容ニ立入ッテ御覽ヲ願ヒタ
イト思ヒマス、御手許ニ若シ田畑ノ兩方ニ
分レテ居ル反別ノ表ガゴザイマスナラバ、
ソレヲ一ツ御覽ヲ願ヒタイト思ヒマス、唯
今御示シノ通り、二毛作ニ依ッテ刺戟サレ
レバ刺戟サレルモノデアリマセウケレド
モ、然ラバ此田デ作ル數量ハ如何ナモノデ
アルカト云フコトヲ過去ノ統計ノ數字ニ
依ッテ見マスレバ、大正六年以來、若クハ大
正七年以來逐次其數量ガ減テ居ルノデア
リマス、此作附反別ノ減テ居ルト云フコトハ
昨日御示シニナッテ理由以外ニ、私ハ理由ガ
アラウト思フノデアリマスガ、兎ニ角最近
數年ニ於キマシテハ七十八万町歩、假リニ
是ガ倍加スルト致シマシテモ四十七万町歩
ト云フ數字ハ出テ來ナイノデアリマス、サ
ウシマスルト云フト數字ノ上ニ統計ノ上カ
ラ申シマシテモ、唯今ノ御答ハ昔シク事實
ニ反スルモノデハナカラウカ、斯ウ思ハレ
ルノデアリマスガ、如何デアリマセウカ

○政府委員(小山松壽君) 御答申上ゲマ
ス、今御答申上ゲマシタ約四十七万町歩ト
申上ゲマシタノハ、如何ニモ結果カラ見マ
スレバ偶然ニ數字ノ一致ノヤウナ形ニナリマ
スガ、是ハ昨日モ申上ゲ、唯今モ御答申上
ゲテ置キマシタ通り、差當、テノ増加反別ヲ
申上ゲタノデアリマスガ、此他ニ當局ト致
シテ將來考ヘテ居リマスルノハ、灌溉排水
事業ガ完成イタシマスル曉ニ、小麥作ヲ増
シ得ル面積ガ約四十万町歩ト見テ居リマ
ス、其他ニ現在ノ大麥及ビ裸麥栽培面積中、
小麥ヲ以テ代リ得ル、面積之ヲ一ツニ分ケマ
シテ田ニ於テ約二十一万町歩、畑ニ於テ約

一
一

三十四万町歩、ソレカラ將來田畑ノ擴張ニ依リマシテ小麥栽培ノ面積ガ約十八万町歩、以上合計イタシマシテ約百六十万町歩ト云フモノヲ麥作ノ將來ノ作附擴張反別ト當局ハ見込シ居ル譯デアリマス、而シテ私ハ昨日申上ダマシタ御答ヲ、尙ホ少シ補テ置キタイト思ヒマスノハ、今回ノ關稅率ヲ衆議院ニ於テ修正セラレマシタル其結果ニ依リマシテ、生産ヲ刺戟スル申上ダマシタ、而モ米ニ比較シテ小麥ノ方ガ前途作附反別ヲ増ス上ニ於テ望ミ多キコトヲ申上ダテ置キマシタ、私共ノ調ベニ依リマスレバ、其専門的ノ基礎的調査ニ依リマシテ米ノ增收ヲ將來圖ルト云フコトニ於キマシテハ、是ハ用排水幹線若クハ開墾助成ト云フヤウナ種々ノ施設ヲ致シテ居リマスケレドモ、米ノ作附反別ヲ多ク増シテ行クト云フコトニ付キマシテハ、將來或ハ二十年三十年ト云フヤウナ將來ノ耕地政策等カラ見マシテモ、麥ニ比較シテ麥ノ伸ビル割合ニ米ハ伸ビマセヌ、併ナガラ此小麥ノ栽培面積ハ唯今申上ダタヤウナ次第デアリマシテ、此方面ニ努力イタシマスレバ將來小麥ハ相當ノ程度ニ迄作附反別ヲ増ス、尙ホ一段ノ努力ヲ致シマスレバ自給自足ト云フ點ニ迄、其歸結ヲ見ルニ至リハシナイカト云フコトヲ目下頻リニ調査研究ヲ致シテ居ルノデアリマス、是ハ望ミナキコトデハナイト考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、ソレカラ尙ホ唯今大正八九年頃カラノ作附反別等ニ付テノ御話ガゴザイマシタガ、是ハ最近數年、殊ニ歐羅巴大戰後ニ於キマスル所ノ麥價、麥ノ消長ノコトヲ考ヘテ見マスルト、歐洲戰爭中投機的ニ其栽培ヲ致シマシタ結果トシテ、非常ニ生産額ハ増加イタシタヤウデアリマスガ、歐洲戰爭終了ト共ニ其貯藏イタシテ居リマシタ麥ノ量ガ市場ニ溢レ

テ參ッタト云フコトデ、其間ノ麥ノ價ニ非常ニ騰落ガアリマシタ、而シテ我が國ノ麥ノ價格モ、是ハ世界ノ共通ノ食料品デアリマスカラ其影響ヲ多少受ケルコトハ是ハ免レスコトデアリマスケレドモ、併ナガラ世界ノ麥ノ生産ノ此市場ノ餘力ヲ見マスルト一億石位ト見テ居リマスガ、之ニ對シテ我が日本ニ這入リマス物ハ、漸ク三百四十石位ト見當付ケラウト思ヒマス、是レデアリマスカラ、右ノ數量ニ依リマスレバ、我が國ニ於ケル影響ト云フモノハ、左程大キナ影響ハ受ケナイト考ヘテ居ルノデアリマスガ、此小麥ノ市價ハ、外國ノ即チ輸入小麥ヲ常ニ標準トシテ、其他ノ釣合ガ保タレテ居ルヤウナ次第デアリマスルノデ、昨日モ申上ダマシタガ、此價格ニ依テ此作付ヲ或ハ増シ、或ハ減ズルト云フヤウナコトハドウモ免レヌコトデアリマスガ、此點カラ見テ我國ノ將來……過去ノ製粉事業ヲ將來カラ見マシテ、當局ト致シマシテハ昨日申上ダマシタヤウニ品種ノ改良等ニ努力イタシタイト考ヘテ居ルヤウナ譯デアリマス、免ニ角大體ノ見當ハ右申上ダルヤウニ當局トシテハ見込テ附ケテ居ルノデアリマスガ、尙唯今御要求ニナリマシタ數字上ノコトハ取調ベマシテ、早速御手元ヘ差上ダマス、ソレカラ尙之ニ對シテ細カイ數字、若クハソレヲ補ヒマスル所ノ説明等ニ至リマスレバ、其局ニ當テ居リマスル者ヨリ申上ダタ方ガ便宜ト考ヘマスカラ左様ナ必要ガアリマスレバ委員長ノ御許シヲ得マシテ、説明員ヨリ申上ダルヤウナコトニ致シマス

○男爵東郷安君 唯今ノ御説明ニ致シマシテモ遠キ將來ノ麥作増加ノ可能性ニ付テ御話ニナルノデアリマスガ、私共ハ過去ノ統計ト現在ノ農村ノ狀況ニ依テ此問題ヲ見テ行クト云フ積リデアル、方面ヲ違ヘテドナタカラデモ宜シイカラ御答ヲ願ヒタイ、此我國ノ主要麥作地ハ順位カラ申シマスル埼玉縣、群馬縣、栃木縣、愛知縣、兵庫縣、福岡縣ノ諸縣デアリマス、是等ノ諸縣ノ實際ノ狀況ヲ御存ジト思ヒマスルガ、麥ヲ作ルヨリモ、夫等ノ諸縣ニ於キマシテハ、養蠶ヲスル方ガ利益デアル、隨テ逐次麥ノ作付反別ハ減ジテ行ク傾向ノアルコトハ爭ハレナイ事實デアル、然ラバ假リニ相當ノ關稅引上ゲニ依テ刺激ガアツテモ、養蠶ノ關係等ヨリ、必ズシモ唯今御説明ニナルヤウナコトニハナラヌカト思ヒマス、即チ各種ノ作物ノ關係カラサウ單一ニハ御考ヘニナルコトハムヅカシイデアラウト思フノデスガ、此點ハ如何デゴザイマス

○說明員(間部彰君) 私カラ御答申シマス、唯今承リマシタヤウニ現在麥作ヲ主ニ致シテ居ル縣ハ、埼玉、茨城、千葉等デアリマスルガ、是等ノ地方ニ於キマシテ養蠶ガ近來段々盛シナツテ居ル、隨テ麥作ニ影響ヲシ、麥作ハ減ズルヤウナ傾向ガアルデヤナイカ、將來サウ云フ傾向ガ段々増シテ來テ結局一面ニ麥作ノ獎勵ヲシテモ目的ヲ達スルコトガ出來ナイデヤ無カラウカト云フ意味ノ御質問ト拜承イタシマシタガ、多少養蠶ガ麥作ニ影響ヲ致スコトハ無論私共認メテ居ル所デアリマスルガ、之ヲ全國ニ付テ考ヘマススト云フト、何分ニモ先刻政務次官カラ申上ダマスヤウナ都合ニ、裏作ヲ行ヒ得ル土地デアツテ、現在裏作ヲ行ハズニ遊バシテ居ル土地ガ相當澤山アリマス、故ニ農家ト致シマシテハ勞力ノ利用ノ上カラ申シマシテモ、出來ル丈ケンレヲ利用イタシタイノデアリマス、只麥ノ値段等ノ關係カラ致シマシテ無論値段バカリノ關係デハアリマセヌ、色々他ノ技術上ニ關係シタ問題モアリマスルガ、値段モ質ノ低イト云フコトモ一ツノ原因ト致シマシテ作リタイケレドモ作り得ナイト云フ狀態ニ在ルノデアリマスルガ、故ニ相當ノ價格ヲ保ツテ行クト云フコトニナリマスレバ、餘地ガ非常ニアルト云フコトト、農家トシテハ出來ルダケ勞力ニ依テ養蠶ヲ圖リタイト云フ考ヘカラ、又其必要ニ迫テ居リマスル考カラ、相當養蠶ノ餘地ガアルト考ヘマス、必シモ養蠶ニ依テ其勢ガ阻止サレルモノトハ私ハ考ヘテ居リマセヌ

○男爵東郷安君 只今御説明ノ中ニ養蠶バカリガ麥作ノ阻害ニ影響ハナイト云フコトデアリマスルガ、然ラバ小麥ノ相場ニ依テ相當麥作ニ影響ガアルト云フ風ナ考ニナツテ居ルヤウニ思フノデアリマスガ、是ハ又過去ノ統計カラ見マシテ、大正七八年、九年、十年、頃ニハ、非常ニ小麥相場ノ好カタ時分ニ、此影響ヲ受ケテ居ル、内地ノ作付反別ガ増加スルヨリモ、却テ漸減ノ傾向ヲ承ケテ今日ニ及シテ居ル、此事實ヲ如何ニ御覽ニナルカ

○說明員(間部彰君) 大正六七八年頃ハ世界戰爭ノ影響ヲ受ケマシテ、麥ノ値段ガ非常ニ暴騰イタシマシタ結果ト致シマシテ、統計ニハ麥作ガ非常ニ……小麥栽培ニ付テハ非常ニ殖エタノデアリマス、其數字デ見マススト云フト、戰前大正二年三年頃ニ於キマシテハ、小麥ノ栽培面積ハ全國デ四十八万町歩デアツタノデアリマスガ、大正六年ニハ五十七万町歩ニナツテ居ル、七年ニ矢張り五十七万町歩ヲ保ツテ、八年ニナリマシテ五十五万町歩ニ減テ居ル、九年ニ五十三万町歩ニ減テ居リマス、麥ノ最モ値段ノ高イ時ニハ、斯ウ云フ具合ニ戰前ニ比ベマシテ約十萬町歩ノ生産額ニ於キマシテ百萬

石以上ヲ増シテ居ルノデアリマス、此八九
年以降ニナリマシテ小麥ノ値段ガ非常ニ下
リマシタノニ伴ヒマシテ、作付ハ段々減テ
居リマス、九年ハ五十三万町歩、十年ハ五十
一万町歩、サウシテ漸次減テ参リマシテ、
今日ハ四十七万町歩、戰前ニ比ベマシテ尙
ホ一万町歩ヲ減ジテ居ルヤウナ状態デアリ
マス、併シ最近大正十二年ノ下半期カヲト
思ヒマスルカ、麥ノ値段ガ……小麥ノ値段
ガ種、値ヲ持チ直シマシテ、其影響ガ直グ
日本ノ小麥作ニ影響イタシテ居ルノデアリ
マス、ソレハ大正十四年度ノ麥ノ作付面積
ナリ、或ハ收穫量ヲ見マスト直グ分リマス
ルカ、十三年迄ハ年々作付面積カ減テ居
タノデアリマス、十四年モ無論減テ居リ
マスルカ、其減リ具合カ尙來ノ減リ具合ヨ
リカモ非常ニ減テ居ルノデアリマス、ソ
レカラ十五年、即チ目下栽培中デアリマ
スル所ノモノハ、是ハ正確ナ面積ノ統計
ハ出來マセヌカ、各地カラノ情報ニ依リ
マス、昨年ヨリカモ利、面積カ増加シタ
申シテ來テ居リマス、之ヲ要スルノニ、從
來値段ノ高カッタ時ニハ、作付段別ノ面積
カ増シテ安クナルト、減ルト云フコトハ、
極メテ鋭敏ニ其間ノ關係カ現ハレテ居ルヤ
ウニ私共ハ見テ居リマス

○男爵東郷安君 尙ホ小麥ニ付テ醬油稅ト
ノ關係ニ付テ大藏當局ニ伺ヒタイト思ヒマ
ス、今回ノ稅制整理ニ依リマシテ、醬油稅
ハ諸味一石ニ付テ一圓七十五錢デアタモ
ノヲ全廢セラル、ト云フコトニナッテ居
アリマスルカ、今回衆議院ノ修正ヲ入レ
テ、小麥ニ付テハ七十七錢デスカ、百斤ニ
付テモ十三錢上タコトニナルノデスカ、サ
ウスレバ差引一圓十一錢シカ、政府ノ所謂
社會政策ノ施設ガ行ハレナイ譯デアリマ
ス、即チ政府ハ醬油稅全廢ニ關シテハ三割

方自己ノ社會政策ヲ自分カラ差引カレタコ
トニナルノデアリマスガ、此點ハ如何デゴ
ザイマスカ、ソレカラ實際醬油ノ製造業者
ノ立場カラ言ヒマスルト、實ハ醬油稅全廢
ニ依ッテ一圓七十五錢ノ税金ダケハ當然商
品ノ値段カラ引カケレバナラヌ、然ルニ
偶然ニモ小麥ノ關稅ガ上ツタ爲ニ、其値下
ラセズニ或ル部分ノモノハ依然値下ヲシナ
イト云フ口實ヲ與ヘルコトニナッテ居リマ
ス、是ハ現ニ醬油ノ產地デアル野田アタリ
ノ當業者ノ實際デアリマス、左様ナ譯デア
リマシテ小麥ノ關稅ヲ引上ゲタコト云フコト
ハ、政府ノ社會政策ニ重大ナ影響ヲ及ボシ
テ來ルト云フ結果デアリマスガ、此點ニ付
キマシテ政府ガ衆議院ノ修正ニ同意サレ
場合ニ於テ果シテ考慮セラレタノデアリマ
スカ、其點ヲ伺ヒマス

○政府委員(黒田英雄君) 小麥ノ關稅ガ現
行ヨリモ七十三錢引上リマスル結果ト致シ
マシテ、ソレダケ若シ小麥ノ價格ガ騰貴イ
タシマスルモノト致シマスレバ、御話ノ通
リ醬油ノ價格ノ上ニ、生産費ノ上ニ影響ヲ
及ボシテ參ルノデアリマシテ、大體諸味一
石ヲ得マスルノニ、大體只今御話ニナリマ
シタヤウニ、五十錢内外ノ影響ガアルモノ
ト考ルノデアリマスガ、併ナガラ小麥ノ關
稅ヲ引上ゲマシタ結果ト致シマシテ、直ニ
内地ノ小麥ノ價格ガソレダケ騰貴イタスト
云フコトニモ考ラレナイノデアリマス、勿
論是ガ爲ニ多少價格ガ上ツテ、從テ内地ノ
小麥作付云フモノガ獎勵サレル結果ニハ相
ナラウカト思ヒマスガ、全然關稅ダケ内地
ノ總テノ小麥ノ價格ガ上ツテ、醬油業ニソレ
ダケ直接ニ影響スルトモ實ハ考テ居リマセ
ヌノデ、勿論多少影響シマスルコトハ前申
上ゲタルデアリマス、是ハ小麥ノ關稅ヲ
引上ゲルコトニ對シマシテ政府ガ小麥、産

業ノ上カラ見マシテ此修正モ已ムヲ得ナイ
ト云フコトデ、同意イタシマスル上ニ於テ
ハ、是ハドウモ已ムヲ得ナイモノト考テ居
ル次第デアリマス、唯ソレガ幾分カ生産費
ガ上リマス爲ニ、諸味一石一圓七十五錢ノ
醬油稅ガ全免イタサレマスルノニ少シモ價
格ヲ下ゲナイト云フコトハナカラウト考ル
ノデアリマス、是ハ醬油製造業者トシテ
ハ、其醬油稅ノナクナリマシタ結果トシテ
適當ニ價格ヲ引下ゲルト云フコトニ致サナ
ケレバナラヌノデアラウト云フ風ニ考ヘテ
居リマス、ソレダケデモ下リマスルト云
フコトハ、國民ノ生活ノ上ノ必需品デアリマ
スル關係カラ致シマシテ、ソレガ下リマス
ト云フコトハ最も希望サレル點デアルノデ
アリマス、唯小麥ガ幾分カ原料トシテ關稅
ガ上ル爲ニ價格ガ幾分カ上ルト云フ爲ニ幾
分生産費ガ殖エルト云フコトハ、是ハ大體
ノ上カラ見マシテ已ムヲ得ナイト云フ風ニ
考ヘテ居ル次第デアリマス

○男爵東郷安君 只今ノ御説明ニ依リマス
ルト、農林省ノ方面デハ小麥ニ付テ關稅ヲ引
上ゲタダケソレダケ農家ニ刺戟ヲ與ヘル
モノガアルト云フ御見解デアリマスレド
モ、大藏當局ニ於テハ必ズシモ左様ナ程
度迄キツカリトハ行カスト云フ御説明デア
リマス、其間幾分私ハ御見解ノ相違ガアル
ノデハナカラウカト思フノデアリマスガ、
是ハ深く申上ゲマセヌ、次ニ伺ヒタイノハ
是ハ農林省ノ方ニ伺ヒタイノデアリマス
ガ、外國産ノ小麥ト、内地産ノ小麥トハ、其
品質用途ニ於テ違ッテ居ルノデハナカラウ
カ、ソレカラ只今ノ醬油稅ニ付テモ考ヘル
ノデアリマスガ、現ニ野田邊リデハ加奈陀
ノ小麥ヲ輸入シテ原料ト致シテ居ル、然ラ
バ其原料ニ對シテ課稅スル結果、醬油稅廢
止ト云フ立派ナ社會政策ノ看板ニ幾分タリ

トモ曇リヲ生ズルノデハナカラウカ、第二段
ニ外國産ノ小麥ヲ前提トシテ各開港場ニ於
ケル大キナ製粉會社ニ大規模ノ設備ガ出來
テ居リマス、然ルニ此大量生産ノ利益ヲ見
ス、失フヤウナコトヲスルコトハ、私共
ノ日常生活ノ必需品トシテ大ナル脅威ヲ
與ヘルモノデアアル、兩方引括メテ考ヘマス
レバ、少クモ是等ノ企業ハ我々ノ日常生活
ニ最も關係ノ多イ食糧品ガ外國ノ小麥ト云
フモノヲ前提トシテ成立ッテ居ルモノヲ、
茲ニ關稅ヲ引上ゲルコトニ依ッテ根柢的ニ
脅威ヲ與ヘルト云フコトヲ相當考慮セラレ
タノデアアルカドウカト云フコトヲ御伺ヒ致
シタイ

○説明員(岡部彰君) 外國産ノ小麥ト内地
産ノ小麥トノ用途ノ點デアリマスルガ大體
區別ハナイト申シテ差支ナイノデアリマス
ガ、唯ダ外國ト日本ト栽培致シテ居リマ
ス小麥ノ品種ノ關係上、外國ノモノハ製粉
歩合ガ概シラ多イ、日本内地ノ物ハ製粉歩
合ガ概シテ少イト云フ差ハアリマスルガ、
隨ッテ之ヲ製粉業者トシテ使フ場合ニ、同ジ
直段デ買ッタ場合ニハ製粉歩合ノ少イ日本小
麥ハ是ハ原料トシテ宜シクナイモノデアリマ
スルガ、免ニ角小麥粉ヲ作ルト云フ目的カラ
申シマス、外國小麥モ内地小麥モ同様デア
リマシテ、何レモ免ニ角小麥粉ニナリ得ルノ
デアリマス、無論此醬油ナドノ原料ニハ内
國ノ物ヲ今日デハ多ク使ッテ居リマス、併
シ足ラザル所ハ矢張り外國ノ物ヲ以ッテヤ
ルト云フノデアリマシテ、用途ニハ截然ト
兩方ニ分ッテ居ルヤウナコトハゴザイマセ
ヌ、現ニ統計ニ依リマシテモ、農商務省統
計デアリマスガ、機械製粉ノ原料トシテ消
費セラレタ内地産小麥ト外國産小麥トノ割
合ノ統計デアリマスガ、是ハ大正十年マデ
シカアリマセヌ、其後ノヤツハ統計ノ纏メ

方が違テ居リマスノデ、ソレマデノモノニ付テ申上ダマスト云フト、製粉原料ト致シマシテ、全體ノ製粉原料トシテ使ヒマシタ物ニ對シテ内地ノ小麥ノ使ヒ割合ガ七十一パーセント、外國產ノ小麥ノ使ヒ割合ガ二十九パーセントト云フヤウナ譯デアリマシテ、寧ろ大正十年マデハ製粉用原料トシテ内地產ノ方が多ク使テ居、タト云フヤウナコトニモナテ居ルノデアリマス、要シマス所、外國產ノ物ト内地產ノ物トハ用途ノ上ニ於テ別ニ區別ガナイモノト御承知ヲ願フテモ宜シト思ヒマス、唯併シ先刻申上ダマスヤウナ工合ニ内國ノ物ハ、製粉歩合ガ概シテ少ナウゴザイマスカラ、此點ハ將來品種ヲ改良イタシマシテ、歩合ノ良イモノニ段々改メテ行キタイ、其見込ハ是ハ別ニアルト申上ダテ差支ヘナイノデアリマス

○男爵東郷安君 小麥ニ關シマシテハ、此程度ニ止メテ置キマシテ、次ニ「コーンスターチ」ニ付キマシテ伺ヒタイノデアリマス、政府ハ此關稅率ヲ御定メニナル時ニ「コーンスターチ」ハドウ云フ目的ニ使フモノダト云フコトニ付テ、御決定ニナツタノデアリマス、ソレヲ伺ヒタイ

○説明員(間部彰君) 「コーンスターチ」ハ所謂工業用ト食用トノ二ツノ用途ガアルカノヤウニ考ヘマス、食用ト致シマシテハ「アイスクリーム」トカ「ブッディング」トカ「パイ」トカ、其他上等ノ「ビスケット」ノ製造、西洋菓子ノ固粉トシテ使テ居リマス、所謂工業用ト致シマシテハ、紡績用ノ、アノ綿布ナドニ使ヒマス糊デゴザイマス、西洋洗濯ノ糊、ソレカラ化粧品ニモ用ヒマス、寫真ナドニ用ヒマス糊、是モ主ニ「コーンスターチ」ヲ使テ居リマス

○男爵東郷安君 大體現在ノ「コーンスタ

ーチ」ノ用途ハ寧ろ輸出綿布ノ加工糊ノ材料トシテ使フノガ多イノデゴザイマシテ、其輸入數量ノ八割五分マデハ是デアル、其他ノ一割五分位ガ唯今御話ノヤウナ食用等ニ使ハレルモノデアルト承知イタシテ居リマス、デアリマスカラ、改正案ノ如ク、舊稅率ニ對シテ約二倍七分五厘餘ノ急激ナル増加ヲセラレルト云フコトハ如何ニモ解シ難ネルノデアリマス、是ハ何等特殊ノ事情ガ存シテナカッタノデハナイデセウカ

○政府委員(間部彰君) 「コーンスターチ」ノ食用ト所謂工業用トノ消費歩合デアリマスガ、唯今ノ御話デアリマス、工業業ニ八割五分ヲ使テ、一割五分ニ食用ハ過ギナイト云フノデゴザイマシタガ、實ハ私共ノ方ノ調デハ左様ニナテ居リマセヌノデゴザイマス、尤モ是ハ正確ナ調査ハナカナカ困難ナコトデゴザイマシテ、デ出來ルダケ正鵠ヲ得ルヤウニ、近イヤウニ當業者ニ就キマシテ調査ヲ致シタノデゴザイマス、或當業者ハ食用ト工業用トハ半分々々ダト申ス者モアリマスシ、食用ガ此外國產ニ付テ申スト、食用ガ約七割、工業用ガ三割、內國產ニ付イテ云フト同ジク食用ガ八割デ工業用ガ二割ト云フヤウニ、此調査シマス先キニ依リマシテ申スコトガ違フノデアリマス、是ハ實ハ無理モナイコトト思フノデアリマシテ、ナカ「サウ正確ニ日本全體ニ使ハレマス斯ウ云フ類ノ物ノ何割ガ工業用、何割ガ食用ト云フ正確ナコトハ到底分ルコトデヤナイト思フノデアリマス、大體當業者ノ見込ヲ取テ私共ハ判斷スルヨリ今ノ所仕方ガナイノデアリマス、要スルニソレラ當業者ノ申スコトヲ斟酌シテ考ヘテ見マス、少クモ工業用ノ方ガ食用ヨリモ多イノダト云フ風ニハドウモ考ヘラレヌノデアリマス、寧ろ私共ハ食用ガ多イ

ノデアル、所謂醬澤品ニ近イ物ヲ作ル歩合ガ多イノデヤナイカ、又所謂工業用トハ云ヒナガラ、其中ニハ單ニ綿布ナドノ紡績會社ナドデ使セマス糊用以外ニ或ハ西洋菓子ノ糊デアルトカ、化粧品、寫真用ト云フモノガアッテ、純粹ニ此紡績用ニ主トシテ使フ糊ト云フモノハ比較的僅カナモノデヤナイカト云フ實ハ事柄ヲ以チマシテ、比較的高イ稅ヲ掛ケタヤウナ次第デアリマス

○男爵東郷安君 ドウモ私ノ調ベマシタ所ト、政府ノ御見解トハ違フノデアリマシテ、私ハ當業者デナイ、全ク公平ナ立場ニアル者ノ調査ニ依ッタノデアリマス、是ハ暫ク後日御研究ヲ願フヤウナコトニ致シテ置キタイト思ヒマス、次ニ二十七番ノ二ノ桐子、現關稅ハ一割五分デアタモノヲ一割ニ下ダラレタノデアリマスケレドモ、元來此品物ハ日本デハ絕對ニ產出シナイヤウデアリマス、且是カラ採取シタ油ハ雨傘ニ使フモノデアリマシテ、是ハ生活ノ必需品デアリマス、デ他ノ稅率ニ依テ見マス、總テ此採油用ノ種子ハ無稅デアルニ拘ラズ、桐子ダケガ尙ホ一割ヲ殘サレタノハ、何ニ依テカ、其理由ヲ伺ヒタイ

○政府委員(矢部規矩治君) 一應御説明イタシマス、今主稅局長ガ豫算ノ方ニ參リマシタカラ、私ガ代テ大體ノ説明ヲ致シマス、唯今御尋ノ如ク採油用ノ種子ハ成ルベク採油事業ニ便利ヲ與ヘル爲ニ無稅ト云フ方針ヲ執テ居リマスケレドモ、併シ此桐油ニ至リマシテハ、内地ニ相當ノ生産ガゴザイマスノデ、是ガ北陸ノ或ル一地方ニ於テ生産ヲサレテ居リマス所ガゴザイマシテ、ソレヲ保護スル爲ニ稅率ヲ殘シマシタ、若シ是ガ内地ノ生産ガナイモノデゴザイマスナラバ、他ノ種子ト同様ニ取扱フベキデアリマスガ、油ノ方ニモ相當ノ便利ヲ

與ヘル爲ニ、一割五分ノモノヲ一割ニ引下ダマシテ權衡ヲ取リマシタヤウナ譯デアリマス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 東郷男爵ハ宜シウゴザイマス

○男爵東郷安君 宜シウゴザイマス

○男爵鄉誠之助君 私ハチヨット簡單ナコトヲ伺ヒタイデスガ、先刻東郷男爵ト應答ノ中デ、少シ不審ニ感ジタコトガゴザイマスガ、此度衆議院デ小麥粉ガ七十三錢從來ノ稅ヨリ高クナツタ、其結果トシテカラ、又其刺激ニ依テカラシテ、如何ナル程度ニ小麥ノ作ガ殖エルダラウカト云フ質問ニ對シテ、政府委員ハ四十七万町歩殖エルト云フ御話デアッタヤウデアリマスガ、七十三錢稅ヲ餘計掛ケルコトニ依テ、四十七万町歩殖エルコトハ、一體ドウ云フ計算カラ御割出シニナツテ、サウ云フ適確ナ數字ヲ御示シニナルコトガ出來ルノデアリマス、甚ダ不審ニ堪ヘマセヌ、一應承テ置キタイ

○政府委員(小山松壽君) 御答ヘ申上ダマスガ、是ハ昨日、今日モ御答申上ダマシタヤウニ、土地ノ利用ガ關稅引上ゲニ依テ其刺激ヲ受ケテ作付段別ヲ増スト云フ意味デ申上ダタノデアリマシテ、一毛作ノモノガ二毛作ヲ爲シ得ル面積トシマスレバ、凡ソ是ダケノモノガアルト云フ見込ヲ申上ダマシタノデ、四十七万町歩全部ハ必ズシモ直チニ麥作ニナツテ行クト云フコト迄ニハ斷言シテ申上ダルコトハ出來ナイト思ヒマスガ、其刺激ニ依テ差當リ二毛作ノ作付ガ殖エテ參ルト云フ、其見込ノコトヲ申上ダマシタ譯デアリマス、要スルニ約言シテ申上ダマスレバ、關稅ノ引上ゲニ依テ、其刺激ニ依ル所ノ土地ノ利用ガ作付段別ヲ増加シテ行クトデアラウ、斯ウ云フ風ニ申

上ダタ譯デアリマス

○稻畑勝太郎君 只今東郷サンカラ御質問ニナリマシタ「コーンスターチ」デアリマスガ、之ヲ關稅ヲ値上ダスルト云フコトニ付テハ、國內ノ生産品ヲ保護獎勵スル御趣意ノ下ニ値上ダヲ爲サタノデアリマスカ、ドウ云フ理由ニ依テ此關稅ヲ上ダラルカ、ソレヲ承リタイ

○説明員(間部彰君) 「コンスターチ」ノ關稅ヲ引上ダマシタ理由ハ、實ハ先刻申上ダマシタ中デ申シ殘シタノデアリマスカ、内地ニ於テ相當ノ保護ヲスレバ自給シ得ラレルト云フ見込ノ下ニ、是ダケニシテ保護スルコトガ必要デアラウト考ヘタ譯デアリマス、御承知ノ如ク戰時中ニ於キマシテハ我が國ニ於キマシテモ、約五万「ピクル」位ノ生産ガアツタノデアリマスカ、戰後値段ノ下落等ニ依リマシテ「コーンスターチ」ノ製造業者ノ倒レル者ガ段々出來マシテ、今日デハ辛ウジテ一ツノ製造所ガアルダケデ、僅カニ五千「ピクル」シカ生産シテ居ナイノデアリマス、併シ免ニ角此程度ニ保護ヲ加ヘルナラバ、内地ニ於テ今日使用サレル位ノモノハ生産シ得ラレルダラウト云フ見込ノ下ニ、斯様ニ致シタノデアリマス

○稻畑勝太郎君 「コーンスターチ」ハ織物用ノ糊ニ最モ必需品デアリマシテ、殊ニ今回政府ニ於カレマシテモ織物、綿織物ノ消費稅ヲ撤廢サレルト云フ趣旨カラ申シマシテモ、日本ニ出來ズシテ、サウシテ工業ニ必要ナルモノデアルト云フモノニ値上ヲ爲サレマシタト云フコトニ付キマシテハ、只今ノ理由デハ乏シヤウニ私ハ思ハレルノデアリマス、併シ是ハ二讀會ニ於テ意見ヲ申上ダマス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 伊集院君ハ御質問ガアレバ此際御願ヒ致シマス

○委員外議員(子爵伊集院兼知君) 私ハ皆様ノ御許ヲ得マシテ、此際鮮魚ノ關稅ヲ現行法三割トアリマスノ一割ニ下ダマシタ、其理由ニ付テ伺ヒタイと思ヒマスガ、此改正ノ……

○委員長(伯爵柳澤保惠君) ソレハ何處デスカ

○委員外議員(子爵伊集院兼知君) 第三類デス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) マダ三類ニハ參リマセス

○委員外議員(子爵伊集院兼知君) 御許シヲ得タト思ヒマシタノデ……

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 二類ニ質問ハゴザイマセヌカ、ソレデハ三類ニ移リマス、伊集院子爵

○委員外議員(子爵伊集院兼知君) 只今少シ申シカケマシタ其後ヲ申上ダマスガ、此現行法三割トアルノ一割ニ御引下ニナツタト云フコトハ先達カラ大臣カラモ御話ニナツタ通りニ、食料政策問題ニ關係シテ最モ必要ナモノカラ下ダタト云フコトヲ大體ニ於テ申サレテ居ルノデアリマス、是ハ御尤モナルコト、思ヒマス、是ハ甚ダ簡單ナルコトノヤウニ見エマスケレドモ、見方ニ依ッテハ或ル重大ナル意味ガ含マレテ居ルノデアリマスカラ、私ハ心配ノ餘リ之ヲ伺テ安心シタイト云フ考ヘデワザワザ出テ參ッタノデアリマス、第一ニ私ノ質問イタシマスノハ二段ニ分ケテ申上ダマスガ、第一段ハ關稅ニ關スルコトデアリマスカラ、大藏當局カラ承リタイ、私ノ意思デゴザイマスガ、大藏當局ノ方ハ居ラレマスカ、居ラレマスカナラ伺ヒマスガ、當局ハ魚類ト仰シヤルガ、如何ナル種類ノ魚類ヲ此關稅ニ依ッテ、内地ノ魚價ヲ下ダル程ノ魚ヲ入レヤウト云フ御考デアリマスカ、抑、

魚ニハ御承知ノ如ク普通ノ品トソレカラ高級品トデモ申シマセウカ、或ハ奢侈稅デモ課シテ居ルト云フ此二種類アルト云フコトハ分リ切ッテ話デアル、例ヘバ鰻、秋刀魚、鰯、飛魚、烏賊又ハ鰯、鰯、鯖ノヤウナモノハ、是ハ普通通誰ニデモ日本ノ國民ニ對シテ必要ナ魚デアラウト思ヒマス、鯛トカ、鰯トカ、鰯、鰯ノ如キモノハ、是ハ高級品ニ屬スルト思フノデアリマス、例ヲ出シテ私ハ伺フノデスカ、當局ヨリ其コトノ御返答ヲ願ヒタイ、ドウ云フ魚ヲ以テ目的ニ遊バスノデアリマスカ

○政府委員(矢部規矩治君) 只今御尋ノ要點ハ、鮮魚ガ現行法ニ於テ從價三割デアリマシタモノヲ改正案ニ於テ一割ニ引下ダタ事情ハ如何ナル理由ニ依ルカ、尙且如何ナル種類ノ魚ヲ以テ適當ナリトシテ居ルト云フ風ニ拜聽致シマシタ、現行法ニ於キマシテハ是等ノモノハ從價三割デアリマスガ、併ナガラ鮮魚ヲ目ト致シマシテ從價三割ヲ設ケタノデハナイノデアリマス、此五十二項ヲ御覽ニナルト直グ御分リニナリマスガ、鳥獸肉類、魚介類、生鮮ナルモノ、甲牛肉、乙羊肉、丙……其他、三ヨリ其他ト云フモノハ魚介類ヲ見テ設ケタ稅率デアリマセヌガ、併シ特別ニ掲ゲテナイカラ其他ノ所ニ込メテ自然三割ヲ適用サレルコトニナツテ居リマス、今回ノ改正ニ於キマシテハ日常生活ニ要スルモノハ成ルベク稅率ヲ引下ゲルト云フ所カラシテ特別ニ生鮮ナルモノヲ掲ゲマシテ從價一割ト致シマシタヤウナ譯デアリマス、ソレデ魚介類ニ付キマシテモ色々ゴザイマスノデ、乾シタ物モゴザイマスガ、工程ノ簡單ナルモノハ鮮魚ト同様ニ一割ト云フ稅率ニ致シテ居リマス、尙其他ノヤウナモノハ從價一割ト云フコトニ致シマシタヤウナ譯デアリマス、ソレソレ權衡ヲ

取ッテ斯様ナ稅率ヲ設ケタヤウナ譯デゴザイマス、今何ノ魚ヲ目的トシテ一割ヲ設ケタト云フ御話ガアリマシタガ、種類ヲ區別シテ、ソレ等ヲ目的トシテ設ケタ譯デゴザイマセヌノデ、權衡上鮮魚ニ對シテ從價一割位ガ至當デアルト致シマシテ設ケマシタヤウナ譯デアリマス、之ニ對シマシテ、當業者カラ種々ノ議論ガ出テ居リマスノデ、若シ此從價一割ト云フヤウニ引下ダタナラバ我が漁業ノ場處ガ荒ラサレル、外國カラ來テ遠洋漁業ヲ行ッテ、ソレヲ直チニ我國ニ入レル、今ソレガ防止サレテ居ルノハ從價三割ト云フ稅率デアラカラシテ此事業ガ行ハレテ居ラス、斯ウ云フ話ヲ聞キマスガ、尤モノヤウニ問エマスガ、我々モ其點ニ付キマシテハ水產當局カラモ話ヲ聞イテ居リマスノデ、我々ハ思ヒヲ致シタ積リデアリマス、若シ一割ト云フ稅率ガ不當デアリマシテ、重大ナル影響ガ及ブト云フコトニナレバ、其曉ニ於テ尙修正スルト云フコトモ宜カラウト考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス

○委員外議員(子爵伊集院兼知君) 不幸ニシテ大藏當局カラ私ノ考ヘマシテ、私ノ論據ニシヤウト思フ所ノ御答辯ヲ得ナカッタノデアリマス、ソレカラ又伺ハヌコトマデ御答辯ガアリマシタ、ケレドモ又其上ニ續ケテ伺ハナケレバナラヌコトハ、ドウ云フ所カラ鮮魚ガ這入ッテ來ルカト云フ目的ガアル、ドウ云フ、種類ノモノ、鮮魚デナクトモ食糧政策ノ上カラ、即チ魚價ヲ下ダルダケノ量ガ世界ノ何レノ如何ナル所カラ這入ッテ來ル御見込ミガアルカ、此御見込ヲ一ツ伺ッテ置カナケレバ私ハ困ル、ソレヲ一ツ大藏當局ニ伺ヒタイ

○政府委員(矢部規矩治君) 唯今申上ダマシタノヲ繰返ヘスヤウデアリマスガ、此鮮

魚ハ權衡上一割位ヲ至當ト認メマシテ設ケマシタヤウナ工合デアリマシテ直チニ今之ヲ設ケタカラシテ何處カラドレダケノ輸入ガアルト云フノ目的トシタ譯デナイ、權衡上至當トシタヤウナ譯デアリマス、詰リ罐詰ノヤウナモノハ茲ニ二割ナラニ二割ト云フノ適當ト思フガ、ソレカラ工程ノ簡單ナルモノ若シクハ鮮魚ノヤウナモノハソレヨリ率ヲ下ゲテ一割五分ナリ一割ヲ儲ケルコトガ相當ト考ヘマスヤウナ譯デアリマス

○委員外議員(子爵伊集院兼知君) 今御説明ヲ承リマス、私ノ御問ヒ申シタコトノ御答ハ要スルニ不明デアル、御尤モデアアル、這入ッテ來ル所ハ實際無イノデアリマス、鮮魚ハ幾ラ稅ヲタミニシヤウガ、割増ヲシヤウガ這入ッテ來ル所ガナイ、日本ノ漁業ガ幸ニ發達シテ居リマシテ、日本近海並ニ日本ノ船ガ行ッテ働イテ居ル所ハ十分ニ働イテ居ル、當局カラ受取りマシタ此表ニ依リマシテモ鮮魚ノ輸入スルモノハ殆ンド無イシ、是マデモナシ、又今後モ私想像シマスニ無イノデアリマス、ソレデ私ハ第一段ノ質問ハ終ルノデアリマス、第二段ノ質問ニ私ハ移リマス、今度關稅改革ニ依ッテ近キ將來ニ於テ變動ガ起ルト云フコトガ想ハレルノデアリマス、ソレハドウ云フコトデアアルカト申シマス、唯今大藏當局ガ御承知ニナッテ居ルト見エテ御答ニナッテ居ル、カラ大藏當局カラ承ッテモ宜シイノデアリマスガ、漁業者ト漁民トノ爭鬭ガ起ルト云フヤウナ虞ガ十分ニアルノデアリマス、是ハ餘リ遠クナイ過去ニ於テモ其現象ガ現レテ居ルノデアリマス、其爲ニ日本ノ非常ニ廣イ面積ニ禁漁區ヲ設ケラレテ、而シテ「トロール」船並ニ蒸汽底曳網ニ禁漁區内ニ於テ漁業ヲシテハ相成ラヌ、斯ウ決メラレタノデアリマス、茲ニ私ハ圖ヲ持ッテ參リマシ

タ、此圖ヲ御覽遊バシテ下サレバ能ク分リマス、此廣イ面積ニ日本ノ政府ハ禁漁區ヲ造テ、サウシテ沿岸ノ憐レナル少クモ數十萬ノ漁民漁船ヲ保護シテ居ルノデアリマス、一方ニハ魚族ノ繁殖、産卵等モ保護シテ居ルノデアリマス、然ルニ今ドウシテ此保護ガサレテ居ルカト云フト、外國船ガ一切此中ニ這入ッテ來ナイ、内國船ハ無論日本ノ法規ニ從フノデアアルカラシテ這入ッテ中デハ仕事ヲ致シマセヌ、併ナガラ外國船ハ御承知ノ通り海岸カラ三哩マデハ近付イテ漁業ヲ營ンデ宜シイト云フコトニナルコトダサウデアリマス、是ハ外デ當局ノ方カラモ伺ッテ、ソレハ差支ナイト云フヤウニ御説明ニナッテ居リマス、片桐君ガ水産官ニ御尋ニナッテ時モサウ云フ御答ノアッタコトガ速記録ニモアル、其事柄ガ私ハ最も心配スル所デ、當局ハ左様ナコトハナイ、單ニナイト仰シヤル、立派ニ無イト仰シヤル、併ナガラ此失敗ガ有ルカ無イカト云フモノハ的確ナ理由アッテ、サウシテ心配ガナイト仰シヤルナラバ私喜ンデ其御説ニ從ヒマスケレドモ、私ノ心配イタシマスノモ此ニ的確ナ何ト申シマセウカ、理由ガアッテ、即チ經濟ガ十分ニ取レルノデアリマス、經濟ガ十分ニ取レルナラバ外國船ハ此所ヘ來テ仕事ヲスルダラウ、誰方カ御説明ニ依リマス日本ノ漁業ハ發達シ、日本ノ漁船ハ非常ナ勢力ヲ以テ居ルカラ決シテ外船ハ其中ニ這入ッテ來ナイ、斯ウ云フ御説明モアリマシタケレドモ、ソレハ私ハ感服シナイ、何故カト云フト、此禁漁區内ニ日本ノ漁船ハ働クコトガ出來ナイノデアリマス、而シテ外國船ハ働キ得ルノデアリマス、サウ致シマス、今迄何故這入ラヌカ、ソレハ關稅ガ三割ノ結果、ドウ切詰メテ考ヘテ見マシテモ、四千何百圓一年ニ不足シテ參リ

マスルカラ、ソレデハ魚ヲ獲ルコトガ出來マセヌ、其四千何百圓ト申シマスノハ、當面ノ只今ノ漁價ヲ上臺トシテ「トロール」ノ漁船ノ現今ノ狀態デ計算シタ數字デアリマス、然ルニ是ガ一割ニナリマス、利益ガ二萬圓以上一年ニ利益ニナルト云フコトデアリマス、サウ致シマス外國船ガ日本ノ近海ニ來リマシテ、漁ヲ營ンデ十分ニ利益ヲ得ルト云フ結果ニナルノデアリマス、而シテソレハ多數ノ船ガ押掛ケテ參ルトハ私ハ申シマセヌ、ソレハ決シテ參ルコトガナカラウト思フ、若シサウ云フコトガアリマス、當局ノ方モ屢、私ガ質問シタ毎ニ御答ニナッタヤウニ左様ナコトガアッタナラバ、ソレハ一大事件デアアル、直グニソレハドウカ稅關ヲ引上ゲルナリ、何カ方法ヲ以テ之ヲ救ハナクチャナラヌ、勿論ノコトデアリマス、數十萬ノ漁民ガ其生業ヲ奪ハレルト云フコトニナルノデアリマス、而カモ漁民ハ立派ナ機械ヲ以テヤッテ居ルノデアリマセヌ、繩ヲ張ッカリ、地曳ヲ曳イタリ憐レニ其日ヲ送ッテ居ルノデアリマス、斯様ナ憐レナ者ヲ若シメルト結果ニナッテハ大變ナコトダラウト私ハ思フノデアリマス、ソレデ細カイ計算モゴザイマスガ、大體ノコトヲ申上ゲマス、一年ニ「トロール」船ガ唯今ノ所デ十萬圓……十四萬圓ノ魚ノ漁獲ヲ致シテ居リマス、ソレガ今三割デゴザイマスカラ四萬二千圓、サウ云フ稅ヲ課ケラレルカラ外國船ガ茲ヘ來テヤッテモ合ハナイト云フコトニナルノデアリマスガ、之ガ一割ニナリマス、而モ「トロール」船ハ大體濟ムノデアリマス、而モ「トロール」船ハ御承知ノ通り中々喧シイ法規ノ下ニ十分ノ準備ヲスル爲ニ人ト云ヒ船ト云ヒ、設備ト云ヒ、中々金ヲ掛ケテ居ルノデゴザイマスガ、御承知ノ通り此圖デ見ルト長崎カ

ラ出テ一日ニ長崎ニ歸ル、門司カラ出テ門司ヘ歸ルヤウナ近イ所デ漁業スルノデアリマス、無線電信モ要ラナケレバ、氷モ石炭モ總テガ儉約サレルノデアリマス、其費用ガ小サク見積リテモ一萬圓ハ掛カルト云フコトデアリマス、是ハ漁業者ガ申シテ居リマス、左様ナコトヲ差引勘定ヲイタシマス、サウキ申シタ所ノ……ソレノミナラス此近海ハ養魚場ノヤウニ魚ガ居ルノデアリマス、其魚ヲ獲リマス、而モ「トロール」船ハ收益ガ二割、或ハ三割ト云フ收益ヲ得ルコトニナリマス、而モ簡單ニ二萬ト申シマスガ、モットヨリ以上ノ利益ガアリ得ルト計算上ナルノデアリマス、ソレデアリマス、ドウモ私ハ日本人ガ外國人ト組ミサウシテ此コトヲヤリハシナイカト云フコトガ心配デアリマス、現ニ上海ニ二艘ノ「トロール」船ガアリマス、之モ經費ガ償ハナイ爲ニ休ンデ居リマス、併ナガラ内地人ニ向ッテ一緒ニヤラウデナイカト云フコトヲ申シテ參ッテ居ルコトハ事實デアリマス、ドウゾ當局ハ私ノ心配ニ向ッテ的確ナル數字ヲ以テ斯様斯様ナ割合ニナルカラ大丈夫ダ、御前ノ心配ハ決シテ心配スルニハ及バヌト云フコトヲ仰シヤッテ下サレバ誠ニ有難イト思ヒマス

○政府委員(小山松壽君) 唯今ノ伊集院子爵ノ段々ノ御話ヲ承ハリマシタガ、御話ノ要點ハ從來三割ノ課稅ガ一割ニ減ジラレタ爲ニ我國ノ水産業方面ニ多大ノ脅威ヲ感ズルノデアリマス、ト云フヤウナ御話ノヤウデアリマス、是ハ私共ヨリモ伊集院子爵ノ方ガ能ク此水産ノコトニ付テハ御研究モアリマス、而モ「トロール」船ハ御満足ニハナルマイトハ思ヒマス、大體我國ノ水産業ヲ見マス、而シテ漁具技術等段々發達シテ參リマシテ、而シテ

沿岸ニ於キマシテハ魚族ノ繁殖等ニ當局ハ銳意之ヲ努メ更ニ食糧政策上遠洋漁業ヲ獎勵イタシマシテ是ハ既ニ昨年來カラモ其方面ニ努メテ居ル譯デアリマスガ、斯ノ如クニシテ我國ノ漁業生産ハ相當豊富デアルト私共ハ認メテ居ルノデアリマス、故ニ一面食糧問題ニモ及ビマスノ生産消費トノ之モ其間ノ調和ヲ保ツヤウニ致シタイ、同時ニ我國ノ水産業ガ唯今申上デマシタヤウニ豊富デアリマスカラ、從テ三割ノ稅ヲ割ヲ引下ゲマシテモ、之ニ依ッテ非常ナ我漁業ニ脅威ヲ感ズルト云フ程度ノモノデハアルマイ、斯ウ見テ居ルノデアリマス、而シテ唯今ノ御話ハ主トシテ「トロール」漁業ニ付テノ御話デアリマシタ、其一例トシテ御話ニナリマシタ、此「トロール」船ノ收入カラ見たル三割課稅、一割課稅ノ御話モゴザイマシタガ、唯今ノ御話ノ主トシテ御心配ニナリマスル方面ハ九州一圓ノコトデアラウト思ヒマス、申ス迄モナク「トロール」船ハ許可ヲイタシテ居ルノガ七十隻、機船底曳ノ漁業ガ近時非常ニ發達ヲ致シテ參リマシテ、是ガ現在四千二百六隻アリマス、而シテ漁業區域ニ付テノ侵犯ノ御心配モ段々御述ベノヤウデアリマシタガ、一面ニ於テハ「トロール」船ノ活動、一面ニ於テハ機船底曳網ノ漁業ガ四千二百六隻モアルノデアリマス、殆ド蜘蛛ノ巣ヲ張タヤウナ形デ、外國ノ船ガ玆ニ來テ其働キヲスルト云フ餘地ガ私共ノ見ル所デハ左様ニ多クハナイダラウト考ヘテ居ルノデアリマス、寧ロ我國ノ「トロール」機船底曳網ノ近時ノ發達……是ハ寧ロ進ンデ他ニ向ッテ相當ナル活動ヲシテ居ルノデ、退イテ自分ノ漁業區ヲ守ルト云フヤウナ消極的ノ私共ハ今日漁業ノ立場デハナイ、日本ハ積極的ノ漁業ノ立場ニアル、斯ウ云フ實蹟ニ照シテ私共ハサウ見

テ居ルノデアリマス、デ唯玆ニ殘ル問題ハ三割カ一割ニナッタラソレデ我ガ漁業ガ非常ニ脅威ヲ受ケルカ受ケヌカト云フ問題デアリマスガ、唯今申上デマシタヤウナ大體ノ趨勢カラ見マシテ、私共ハ我ガ漁業ハ左様ニ脅威ヲ受ケルモノデハナイ、斯ウ見テ居ルノデアリマス、尙ホ此漁業區域及ビ「トロール」機船底曳網ノ漁業等ノ實際ニ働イテ居リマスル狀況、及ビ其一隻ノ收穫ハ若干デアッテ、其關係ガ關稅ニ依ッテドウナルカト云フヤウナコトニ付キマシテハ、當局カラ御説明ヲ申上ゲタガ便利ト考ヘマスガ、要スルニ私共ノ見ル所デハ外國人ガ我ガ漁業ノ範圍ヲ侵シテサウシテ之ニ依ッテ非常ニ脅威ヲ受ケルト云フコトハ先ヅナカラウト、又事實現在ハゴザイマセヌ、ソレカラモウ一步退イテ、若シ斯ウナルナラバ或ハ支那人ヲ雇ヒ其生産者ノ安ク付クヤウナモノヲ持テ來テ、サウシテ活動スレバ、之ニ依ッテ我ガ漁業ガ相當ニ脅威ヲ受ケルデヤナイカト云フ御話モアリマスガ……アルヤウデアリマスガ、是ハ我ガ沿岸ノ岩石ノ色ニ障礙物ガアリマス所ヘ、其不案内ノモノガ參リマシテ、其處デ漁業ヲヤラウナント云フコトハ進モ出來ルモノデハナイ、ソレガ爲メニ網モ破リ、漁具モ壞レルト云フ風ニ進モ出來ルモノデアリマセヌカラ、從ッテ其漁區ノ者若クハ之ニ從事スル者ガ、矢張り其ノコトノ地理ノ案内ヲ心得マシタモノヲ雇ハナケレバ進モ漁業ニ堪ヘラレヌト思フノデアリマスガ、サウスレバ從ッテ支那人等ガ來テヤルト云フヤウナ生産費ガ廉ニナルカト云フコトノ憂ヒハドウシテモナイ、斯ウマア考ヘテ居ル譯デアリマス、是ハ何分ニモ私ハサウ堪能ナモノデアリマセヌノデ、是ハモウ十分ニ「トロール」船若クハ機船底曳網ト云フヤウナモノニ付

テハドウモ皆御研究モアリマスノデ、私カラ申上ゲマスルノハ如何ニモ素人臭イコトヲ申上ゲルカモ知レマセヌガ、大體ニ私共ノ見ル所デハ左様ニ見テ居ルノデアリマス、唯今申上デマスヤウニ、御説明ヲ申上ゲルト致シテハ甚ダ私共ハ疎イノデアリマスガ、當局カラシテ足ラザル點ハ補ッテ十分ニ御説明ヲ申上ゲタガ便利ト考ヘマス
○委員外議員(子爵伊集院兼知君) 唯今ノ政府委員ノ御説明ニ反駁スル譯デアリマセヌケレドモ申上ゲテ置キマスガ、先キ程モ申上デマシタ日本ノ漁業ハ發展シテ居ルカラ中ヘ這入ッテ來ナイト仰シヤルケレドモ、一例ヲ舉ゲテ申上デマスレバ、例ヘバ御獵場デアリマス、御獵場ト申シマス所ハ誰モ這入ルコトハ出來ナイ、併ナガラ主獵官ハ中ヘ這入リマス、其如ク……主獵官ガ這入ッテ來ル如ク、治外法權ヲ以テ、外人モ這入リ得ルト私ハ思フノデアリマス、其コトハドウゾ皆御承知下サイ
○委員長(伯爵柳澤保惠君) 宜シウゴザイマスカ、貴方ノ御質問ハ……
○委員外議員(子爵伊集院兼知君) マダ何カ數字ニ付テ御説明下サル譯デスガ、ソレハ無理ニ伺ハナクテモ宜シウゴザイマスガ、モウ少シ申上ゲテ置キタイコトハ、是マデ私ハ第二段ニ質問ヲ致シマシテ承ハル所ニ依リマス、私ノ安心スルダケノ御答辯ヲ得ナイノデアリマス、大藏當局カラ承ハタ御答辯ニ依リマス、這入ッテ來ル魚ハナイ、私モ左様ニ思ッテ居ル、這入ッテ來ル何ニモナイ、「ゼロ」殆ンド「ゼロ」ノモノニ向ッテ、關稅ヲ上ゲヤウガ、下ゲヤウガ、痛痒ハ唯シモ感ジハシナイト云フコトハ、前段ニ於テ私ハ認メテ居ルノデアリマス、後段ニ於テハ、今私ガ申シ述ベマシタ通りドウモ怪シイコトガアルノデアリマス、私

ハ支那人ト申シマシタケレドモ、支那人デヤナイ、日本人ガヤリハシナイカ、モウ既ニ計畫シテ居ヤシナイカト云フコトヲ私ニ云フタ人モアル、實際的ニ於テソレハ澤山ノ魚ヲ取ル目的デアリマセヌ、タダ一時利益ヲ儲ケテ、アトハ野トナレトナレ、一時此ノ平和ノ海ヲ搔キ廻ハシテシマヘバ、一時相當ノ金ヲ取ルコトガ出來ル、斯ウ云フコトデスルラシク思ハレル、是ヲ私ハ實ニ恐ロシク感ズル次第ナノデアリマス、ソレデ承ハル所ニ依ルト、イロ／＼ナ疑ヒガアル所ノ品物ニ付イテハ、調査會ノヤウナモノヲ設ケテ、調査サレルト云フコトデアリマスガ、衆議院カラモタシカ希望事項カ何カ魚類ニ付イテ居ルト思ヒマスガ、當局ハドウ云フ御考デアリマスカ、此魚類ニ付イテ、今後ドウ云フ御考ヘデアリマスカ、ドナタカラデモ宜シイカラ仰シヤッテ頂キタイ
○政府委員(小山松壽君) 衆議院ノ方デモ、此水産方面ノ方デ、御心配ニナッテ居ル諸君カラ、種々御意見モ承ハリ、衆議院ニ於テハ、其希望ヲ附サレマシタ中ニ、左様ナコトモアリマスノデ、當局ハ是マデ承ハリマシタコロニ依リ、將來尙各方面ノ御意見ヲ承ハリマシテ、篤ト研究イタシテ見ル積リデアリマス
○委員長(伯爵柳澤保惠君) 宜シウゴザイマスカ
○委員外議員(子爵伊集院兼知君) 長々御清聴ヲ煩ハシマシテ、甚ダ恐縮デゴザイマス
○委員長(伯爵柳澤保惠君) 何かアナタ御注文ノ表デモゴザイマスレバ、アトカラ政府ニ照合シテ……
○委員外議員(子爵伊集院兼知君) モウ頂戴シテアリマス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) サウデスカ、
宜シウゴザイマスカ、第三類、御質問アリ
マスカ

○稻畑勝太郎君 外務當局が御出デニナ
テ居リマスカラ、六十四類、葡萄酒デアリ
マス、此葡萄酒ヲ現行稅率ガ四十七圓八十
錢ト云フノハ八十一圓九十錢ニスル、國內
問題トシテハ日本酒、酒ノ稅ヲ増シタノデ
アリマスカラシテ、已ムヲ得ヌコトと思ヒ
マスガ、此葡萄酒ト云フモノハ殊ニ佛蘭西
ニ取リマシレバ我が國ノ生絲ノ如キモノデ
重キヲ置イテ居ルモノデアリマス、ソコデ
今日佛蘭西ノ協約ガ、通商協約ガ巴里ニ於
テ進捗中ニ、斯ウ云フモノヲデスネ、此際ニ
出スト云フコトハ日佛通商上ニ幾分ノ妨害
ヲ與ヘヤセナイカ、是ハ或ル時期ニヤ
ル方ガ宜カラウカ知ラヌト私ハ思フノデア
リマスガ、之ニ付テ外務當局ノ御意見ヲ伺
ヒマス、ドナタモ御出ニナッテ居リマセヌ
カ、ソレデハ質問ト致シマシテ外務當局ガ
御出ニナッテ時ニ伺ヒマス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 大藏ノ御答辯
デヤ如何デスカ

○稻畑勝太郎君 結構デス

○政府委員(黑田英雄君) 外務當局ニ對ス
ル御質問デゴザイマシタガ、一應私カラ御
答申上デマシテ、御不滿デゴザイマシタナ
ラバ、外務當局ヲ呼ンデ參ルコトニ致シマ
ス、葡萄酒ニ付キマシテハ御説ノ通り佛蘭
西ニ於キマシテハ重キヲ置イテ居ル物ノヤ
ウニ承知イタシテ居ルノデアリマス、是ガ
稅率ニ付キマシテモ十分ニソレ等ノ點モ考
慮イタシタノデアリマスガ、葡萄酒ハ大體
内地ニ於キマスル消費ノ狀況カラ見マシテ
モ、内地ニ於キマスル酒ノ稅モ引上デマス
ル今日ニ於キマシテ、ソレ等ト同ジヤウナ
或ハ寧ロソレヨリモ贅澤ニ或ハ奢侈的ニ用

ヒラレト、斯ウ考ヘラレマスルモノニ付
キマシテ、相當關稅ヲ引上ゲルト云フコト
ハ、適當デアラウト考ヘテ居ルノデアリマ
ス、即チ物價ノ騰貴ニ伴ヒマシテ以前ノ稅
率ガ四十三年ニ掲ゲラレタノデアリマスガ、
今日ノ物價ノ狀況カラ見マスト云フト以前
ニ決メラレマシタ所ノ稅率ハ今日デハ非常
ニ低ク相成テ居ルヤウナ狀況デアリマス
カラ、適當ニ之ヲ引上ゲルト云フコトハ必
要デアラウト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリ
マス、而シテ一面ニ於キマシテ唯今御述ベ
ニナリマシタヤウナ點モ相當考慮ヲ致シタ
ノデアリマス、外務當局トモ此點ニ付キマ
シテハ十分ニ協議ヲ致シタノデアリマス、
併シ此引上ゲハ大體現行、現在ノ價額カラ
見マシレバ唯今例ニ御取リニナリマシタ四
十七圓八十錢ト云フモノガ、八十一圓九十
錢ニ相成テ居リマスガ、八十一圓九十錢
ト云フコトニナリマシテモ此處ニ示シテ置
キマシタヤウニ、大體ハ五割ト云フ位ノ程
度デアリマシテ、他ノ品物ニ比較イタシ
マシテ決シテ同率ニ高イ稅率デハナイノデ
アリマシテ、他トノ權衡モ取ラレテ居ル稅
率デアリマシテ、又佛蘭西トノ間ニハ協定
ガアリマスルノデ、之ニモ掲ゲテアリマス
ルヤウニ、協定ノ結果十七圓九十二錢ガ三
十圓七十一錢ニ相成ルノデアリマシテ、其
引上ゲ方ノ左程大ナルモノデモナイ、今日
ノ物價ノ變動ノ程度ニ較ベマシレバ、著シ
イ是モ引上ゲダト云フ譯ニナッテ居ルノデ
ハアリマセヌカラ、外務當局トモ十分協議
イタシマシタ結果、是ガ爲ニ何等……勿論
稅率ヲ決メマスルノハ我が自主權ニ依ッテ
ナシ得ルノデアリマスケレドモ、佛蘭西ト
ノ稅率ノ決メ方ガ歩合協定ニ依ッテ決メル
ノデアリマスカラ、ソレニ依ッテ動クノデア
リマス、是ハ差支ナイノデアリマスガ、併

シ一面ニ於テハ御心配ノコトハ十分ニ考慮
ヲ致シタ結果、差支ナイト云フ風ニ考ヘテ
居ル次第デアリマス

○男爵東郷安君 唯今ノ問題ニ關聯シテ伺
ヒタイノデアリマスガ、是ハ一般的ニモ御
尋スルノデアリマスガ、贅澤關稅ニ今回觸
レナカッタ、而シテ舊稅率ノ儘ニ據ヘテ置
カレタト云フコトニ付テハドウ云フ理由ガ
アルノデアリマセウカ、ソレヲ私ハ伺ヒタ
イノデアリマス、即チ申スマデモナク大正
十三年ノ法律第二十四號ノ贅澤品關稅品目
ノ中ニ當分ノ中十割稅ヲ課スト云フコトニ
相成テ居ルノデアリマスカラ、何時當分
ノ中ト云フコトガ取レルカ分ラナイノデア
リマス、從ッテ此國際間ニ喧シイ葡萄酒ノ
如キデスラ稅率ヲ動シテ居ラレルナラバ、
對外的ノ關係デアアル贅澤關稅ノ關係品ハ、
矢張り其本稅率ハ動シテ、サウシテ當分ノ
中尙ホ十割稅ヲ存續スルト云フ斯ウ意味ニ
ナサレナケレバ、外ノ稅率トノ權衡ヲ保テ
ナイコトハ明デアリマス、ソレガ第一點、
第二點ニ於テハ唯今丁度酒ノコトガ出マシ
タカラ申上デマスガ「ビール」トカ支那酒ニ
十割稅ヲ課シテ置キナガラ、ソレヨリモモ
ト高級ノ酒デアアル葡萄酒ニ五割ノ稅率ヲ課
スルト云フコトハ、是レ亦權衡ノ上カラ云
ハバ、ソコニ贅澤關稅ヲ取扱フ上ニ於テ、
頗ル矛盾ノ點ガ出テ來ルノデアリマスガ、
是等ノ點ニ付テ當局ハドウ云フ御考デアリ
マスカ

○政府委員(黑田英雄君) 所謂贅澤稅ヲ課
ケテ居リマスル所ノ品物ニ付キマシテ、何
故ニ國定稅率ヲ適當ニ變更イタサナカッタ
カト云フ御説デアリマス、寔ニ御尤モト考
ヘマス、贅澤稅ヲ課ケテ居リマシテモ、是
ハ當分ノ中別表ニ依ラナイ、當分ノ中十割
ノ課稅ヲスルト云フコトニ相成ッテ居ルノ

デアリマスカラ、國定稅率、普通ノ國定稅
率ト致シマシテハ、適當ニ他ノ品目ト權衡
ヲ取リ、又其品物ニ依リマシテソレノ適當
當ノ稅率ヲ盛ルコトガ勿論適當デアルト考
ヘテ居ルノデアリマス、併ナガラ今日此贅
澤稅ニ付キマシテ、果シテ然ラバ贅澤稅ト
云フモノヲ離レマシテ考ヘマシテ、サウ云
フモノノ關係ナシニ考ヘテ、稅率ガドレ位
ガ適當デアアルカト云フコトヲ調査イタシマ
スルコトガ、今日ソレ等ノ品物ニ對シテハ、
日本ノ國情ニ於テ十割ノ課稅ヲスルコトガ
宜シイト云フコトノ政策ヲ執ッテ、サウ云
フ法律ガ今日アルニ拘ラス、是ハ三割ガ宜
イトカ、或ハ二割ガ宜イトカ云フコトヲ決
メマスコトハ、如何ニモ矛盾スルヤウニ考
ヘラレルノデアリマス、十割ガ今日適當デ
アルト云フ、當分ノ中即チ十割ガ關稅トシ
テ適當デアアルノデアリマシテ、其以外ニ稅
率ヲ考ヘマスト云フコトハ、此十割ノ關稅
ト云フモノヲ止メマシテ、サウ云フ必要ノ
ナイ時ニ於テ初メテ考ヘラレ得ルノデアリ
マスカラ、今日ニ於キマシテハ寧ロソレニ
ハ手ヲ觸レナイデ置イテ、姑ク現行ノ儘ニ
置ク、併ナガラ其結果ト致シマシテハ、御
意見ノ如ク其品物トノ間ニ權衡ヲ著シク失
スルト云フコトハ當然ノコトデアリマス、
是ハ孰レモ贅澤關稅ガ廢止サレル時ニ於キ
マシテハ、先ヅソレ等ノ品目ノ稅率ヲ、今
回改正ニナリマシタ他ノ品目ト權衡ヲ取リ
マシテ、又ソレトノ品目ノ今日ノ生産消
費ノ狀況モ十分ニ考慮イタシマシテ適當ニ
先ヅ直シマシテ、サウシテアノ特別法ヲ廢
止スルト云フ手段ニ出ルモノト考ヘテ居リ
マス、即チ十割關稅ノ廢止サレマスルトキ
ニハ當然此據置カレマシタ贅澤品ニ關シマ
スル稅率ハ適當ニ改正ヲサレマシテ、同時
ニ十割稅ノ關稅ニ關スル法律ガ廢止サレル

ト云フコトニナルト考ヘテ居ルノデアリマ
スルカラ、今日一方ニ於テ此十割シタ品物
ニ付テハ十割カケルガ適當ト云フテ置キ
ナガラ、政府ハ是ハ本統ハ斯ウナンデアル
ト云フノモ如何ニモ矛盾スルヤウニ考ヘマ
スシ、又今致サヌデモ其時機ニ於テ只今申
スヤウニ適當ニ直シテ十割關稅ヲ撤廢スル
コトニ致シマスレバ、敢テ差支ハナカラウ
ト云フ風ニ考ヘマシテ手ヲ觸レマセナカッ
タ次第デアリマス、併シ只現在ノ形ニ於テ
揃ヘテ居リマセヌコトハ御説ノ通りデアリ
マス、ソレカラ支那酒、ビール等ニ就テ釐
澤稅ヲカケテ置キナガラ何故ニソレヨリ高
級品ト認メル葡萄酒ニ釐澤稅ヲカケナカッ
タト云フ御話デアリマシタガ、此點ハチヨ
ト速記ヲ...

〔速記中止〕

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 速記ヲ付ケ
テ...

○稻畑勝太郎君 葡萄酒ノ稅ヲ...ソレデ
是ハ國定稅率デアリマスガ、協定稅率ト云
フモノハマダ存在シテ居ルノデスカ、日佛
間ノ協定稅率ト云フモノハ存在シテ、協定
稅率ニ依テ輸入ハ御取扱ヒニナルト云
フコトナンデスカ、ソレヲチヨット伺ヒタ
イ

○政府委員(黒田英雄君) 「フランス」トノ
間ノ條約ハ戰後ニ於キマシテ效力ヲ失フテ
居リマシテ、今日ハ暫定デ以テ六箇月間ノ
期間デ以テ踏襲ヲサレテ參ッテ居ルノデア
リマス、併シ其暫定ニ依リマスレバ、矢張
リ從前ト同ジヤウニ協定ガ有シテ居ルノデ
アリマシテ、葡萄酒ニ付キマシテハ御參考
ニ差上ゲテ居リマス、下ニ書イテ居リマ
スルガ、現行ノ四十七圓八十錢デアリマス
ト云フト、十七圓九十一錢ニ協定デハナッ
テ居ルノデアリマス、ソレガ八十一圓九十

錢ニ上ガリマス云フト、三十圓七十一錢
ニ上ガルノデアリマシテ、「フランス」トノ協
定ハ御承知ノ通り、歩合協定ニナッテ居リ
マシテ、國定ノ何分ノ一ト云フ風ニ決メテ
居リマスカラ國定稅率ガ上ガリマスレバ、
從ッテ其歩合ダケ稅額ガ上ッテ參ル、下ガレ
バソレダケ下ガルト云フ風ニナッテ居リマ
スノデ、國定稅率ヲ動かシマスコトハ自由
ニ動カセマス、ソレニ應ジマシテ幾分カ損
ヲ致スコトニ相成ッテ居リマス

○男爵東郷安君 先刻私ノ質問ニ對シテ前
後ニ御答ニナリマシタ大藏當局ノ御説明ハ
隨分無理ナ御説明デアルト拜承スルノデア
リマシタ、前々カラ釐澤關稅制定ニ關スル
經過カラ申シマシテ、當時大藏大臣ガ申サ
レタルガ如ク是ハ一國ノ風教ヲ維持スルガ
爲ニ所謂警鐘ヲ亂打スル意味デアル、即チ
一切ノ事情ニ超越シテ奢侈ノ風ヲ抑制スル
意味ニ於テ強ヒテ行フモノデアルト、斯ウ
云フ御説明デアッタ、所ガ此稅率表ヲ定メ
ルト云フコトハ一國ノ産業ノ根本ヲ定メル
モノデアリマスカラ、ソレト是トハ丸デ
事情ガ違フノデアリマス、デアリマスカラ
只今ノヤウナ無理ナ御説明ヲ爲サラナケレ
バ辻褄ガ合ハナイト云フ位、ソレ位又一面
ニ於テ釐澤關稅ト云フモノハ常軌ヲ逸シテ
居ルト云フコトデアリマス、併ナガラ是ハ
一國ノ別個ノ政策カラ出發シタモノデアリ
マシテ、是ハ是ト致シマスルガ、私ハ少ク
トモ此機會ニ於テ我國ノ産業政策ハド點
ニ在ルノデアアルカト云フコトヲ...此百六
十七種ニ餘ル釐澤品目ニ就テモ定メラルベ
キガ至當ナルコトデアッタと思フノデスカ、
若シ此點ニ就テ意見ガ相違シマスレバ是レ
以上御答ヲ要シナイ、ソレカラ今一ツ此類
デ伺ッテ置キタイノハ、嗜好的輸入品ニ屬
スルモノ、例ヘバ三十七番ノ胡椒、二ノ其

他ソレカラ三十九番ノ「マスタード」粉狀ノ
モノ等ニ於ケルガ如ク、舊來ノ稅率ヲ俄ニ
一躍シテ數倍ノ高率ニセラル、ト云フコト
ハ、是ハ關稅政策ノ上ニ於テ餘リニ急激ナ
ル變化デヤナイカト思フノデ、是ハマダ外
ノ類ニ於テモ例ガアリマスルガ、餘リニ急
激ナル増率ヲナサルト云フコトハ是ハ餘程
御攻究ニナラナケレバナラヌモノデアラ
ウ、之ヲ斯ノ如キ急激ナル變化ヲ取ッテモ
差支ナイト云フコトニ就テハ何カ特殊ノ理
由ガアリマシタカ、ソレヲ伺ヒタイ

○政府委員(黒田英雄君) 第一ノ點ニ付キ
マシテハ意見ノ相違デアルカラ答辯ハシナ
クテモ宜シイト云フヤウナ御意見デアリマ
シタガ、私ノ説明ガ若シ不充分デアリマシ
テ、御諒承願ヘナイ點ガアリマシテハ遺憾
デアリマスガ、一應チヨット簡單ニ申上ゲ
テ置キマスルガ、釐澤關稅ヲ認ケテ居リマ
スル物ハ、勿論釐澤關稅ヲ取りマシタニ付
キマシテハ、内地ノ産業狀況或ハ商業ノ狀
況カラ見テ適當ノ稅率ヲ設ケタト云フコト
ハ、今日ノ稅率ガ必シモ適當ナリヤ否ヤト
云フコトニ付テハ、勿論疑問デアリマシ
テ、勿論改正ヲ要スルモノガ多アルト考
ヘテ居ルノデアリマスガ、併シ之ヲ變ヘマ
シタ所デ、ソレガ今日ノ實際ニ現ハレナイ
ノデアリマシテ、十割ト云フモノガ今日ハ
免ニ角必要デアアル十割課ケルコトガ必要デ
アルト云フノデ、十割課ケテ居ルノデアリ
マスカラ、ソレヲ變ヘマシテモ實際ノ效果
ハ何等現ハレナイノデアリマス、ソレ故ニ
當分釐澤關稅ガ設置サル、ト云フコトデア
リマスルカラ、其釐澤關稅デ愈々撤廢サレ
ル時ニ於テ始メテ適當ナル稅率ヲ盛リマス
レバ、其時ノ狀況ニ依ッテ盛レバ宜イノデ
アッテ、今日盛リマスルコトハ、唯形ノ上
ニ於テ整ヒマスヤウデアリマスルケレド

モ、實際ノ效果ニ於テ何等差支ナイ、即チ
據置キマシテ差支ナイト云フ風ニ考ヘマシ
タノデアリマス、實質ノ上カラ申シマスレバ
別ニ差支ナイヤウニ考ヘテ居ルノデアリマ
ス、此點ハチヨット附加ヘテ申上ゲテ置キ
マス、ソレカラ第二ノ御尋ネノ點ノ「マス
タード」アタリニ付キマシテ重量稅ガ著シ
ク上ッテ居ル、是等ハドウ云フ關稅政策ノ
上カラ來テ居ルノデアアルカト云フコトデゴ
ザイマスルガ、是ハ大體嗜好品ニ屬シマシ
テ、直接消費サレマスモノ、即チ他ノ原料
ニナリマセヌ直接消費サル、モノデ、而モ
嗜好品ニ屬シテ居リマスルモノハ、大體三
割或ハ三割五分ト云フ風ナ大體稅率ヲ持
テ居ルノデアリマシテ、ソレガモウ少シ奢
侈的贅澤的ニナリマス云フト四割五割ト
云フモノニ致シテ居リマスガ、嗜好的ノモ
ノデアリマシテモ食料ニ供セラレルト云フ
風ナ物ニ付キマシテハ、二割五分、大體三
割ト云フ位ノ所ニ致シテ居ルノデアリマ
ス、ソレ故ニ是等ノモノニ付キマシテモ現
行ガ大體四割デ現在割出シテ居ルノデアリ
マスケレドモ、四割ハ少シク高キニ失スル、三
割位ガ適當デアラウト云フノデ三割ニシタ
ノデアリマス、ソレカラ出シマシタ稅率ガ
偶々斯様ニナッテ居ルノデアリマスガ、是ガ
三割位ノ程度ニ極メマシタ結果、重量稅率
ガ相當上リマスルケレドモ、上リマシテモ
是等ノ嗜好的ノ物デアアルノデアリマスカラ
シテ差支ナイト云フ風ニ考ヘマシテ、是ハ
一般ノ説明ヲ一番初メニ申上ゲル時ニモ例
ニ申上ゲタト思ヒマスガ、サウ云フ風ナ趣
意デアリマシテ、此大體三割見當ニシマシ
タ結果、上リマシテモ支障ナシト認メマシ
テ、其上ッタ稅率ニ據置イタノデアリマス、
殊ニ粉狀以外ノ物ニ付キマシテハ、現行ノ
四割ヲ三割ニ下ゲテ居ルノデアリマスルカ

ラ、此粉狀以外ノ物ヲ輸入イタシマシテ之ヲ内地ニ於キマシテ粉狀ニ致シマスレバ、寧ロ内地ノ加工業ヲ助ケルコトニナル、寧ロ其方ガ宜イノデアリマシテ粉狀ノモノニ付キマシテハ前申スヤウニ直接消費ニ供セラル、物デアリマスルカラ、其程度デ差支ナイト云フ風ニテヨット唯今申上デマシタガ、私誤解ヲ致シテ居リマシテ、「其他」ニ付キマシテハ間違ヘテ居リマシタ、是ハ取消シマス、種子ノ方ニ付キマシテハ大體一割ノ見當デ致シテ居ルノデアリマス、ソレ等ノ生産シタモノデアリマシテ直接消費ニ供セラレルノデアリマスルカラ、前申上デマシタヤウナ理由ノ下ニ三割ト云フ程度ガ適當ト考ヘタ次第デアリマス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 如何デゴザイマスカ、モウ四時近クニナリマスガ、續行イタシマスカ

○内藤久寛君 三種類ダケデ今日ハ...

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 三種類ハ御質問ゴザイマスカ

〔「ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 如何デスカ、四種類ヲ續ケテヤリマスカ

○男爵東郷安君 今日ハ此程度ニ止メテ明日ハ第四種類カラ御始メヲ願ヒマス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 如何デスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵柳澤保惠君) ソレデハ今日ハ是デ散會イタシマス、明日ハ又午前十時ヨリ委員會ヲ開キマス

午後三時五十七分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵柳澤 保惠君

副委員長 男爵斯波忠三郎君

委員

子爵八條 隆正君

委員外議員

子爵伊集院兼知君

國務大臣

外務大臣 男爵幣原喜重郎君

政府委員

大藏省主稅局長 黒田 英雄君

大藏技師 矢部規矩治君

農林政務次官 小山 松壽君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

農工政務次官 柵瀬軍之佐君

商工省工務局長 宮内國太郎君

商工書記官 侯爵木戸 幸一君

説明員

間部 彰君

犬塚勝太郎君

和田彦次郎君

中村 是公君

神野勝之助君

男爵郷 誠之助君

男爵東郷 安君

倉知 鐵吉君

内藤 久寛君

稻畑勝太郎君

岡崎 藤吉君

磯貝 浩君